

エプソンプリンター共通

ネットワークガイド

本製品をネットワークプリンターとして使うために必要な情報 を詳しく説明しています。 また、各種トラブルの解決方法やお客様からのお問い合わせの 多い項目の対処方法を説明しています。 目的に応じて必要な項目を参照してください。 本書は、ネットワークを標準搭載したエプソン製プリンター共 通の説明書です。お使いの製品の仕様によっては、記載の一部 が該当しないことがありますのでご了承ください。

マークの意味



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プ リンター本体が損傷したり、プリンター本体、プ リンタードライバーやソフトウェアが正常に動 作しなくなる場合があります。この表示は、本製 品をお使いいただく上で必ずお守りいただきた い内容を示しています。



T

補足説明や参考情報を記載しています。

関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OSの違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows 7 の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限り OS X Lion の画面を使用しています。

Windows の表記

Microsoft[®] Windows[®] XP operating system 日本語版 Microsoft[®] Windows Server[®] 2003 operating system 日本語版

Microsoft[®] Windows Server[®] 2008 operating system 日本語版

Microsoft $^{\otimes}$ Windows Server $^{\otimes}$ 2008 R2 operating system 日本語版

Microsoft[®] Windows Vista[®] operating system 日本語版 Microsoft[®] Windows[®] 7 operating system 日本語版 Microsoft[®] Windows[®] 8 operating system 日本語版 Microsoft[®] Windows[®] 8.1 operating system 日本語版 Microsoft[®] Windows Server[®] 2012 operating system 日本語版

本書では、各オペレーティングシステムをそれぞれ Windows XP、Windows Server 2003、Windows Server 2008 (R2 含む)、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、 Windows 8.1、Windows Server 2012と表記しています。 また、これらを総称して「Windows」を使用しています。

Mac OS の表記

本書では、Mac OS X、OS X の総称として、Mac OS X と 表記しています。

商標

「EPSON」、「EPSON EXCEED YOUR VISION」、 「EXCEED YOUR VISION」はセイコーエプソン株式会社の 登録商標または商標です。

Apple、Mac、Macintosh、macOS、OS X、Bonjour、 ColorSync、Safari、TrueType は米国およびその他の国で 登録された Apple Inc. の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国にお ける登録商標です。

Adobe、Acrobat、Readerは、Adobe(アドビ)の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

Java および Java 関連の商標およびロゴは、米国 Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における登録商 標です。

BSAFE は、米国 Dell Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負い かねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当 に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によっ て修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責 任は負いかねますのでご了承ください。

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害(本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等)は、補償致しかねます。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラ ムなどの著作権物は、個人(家庭内その他これに準ずる限られ た範囲内)で使用するために複製する以外は著作権者の承認が 必要です。

本製品は、米国 Dell Inc. の Dell BSAFE™ ソフトウェアを搭載しています。

Copyright© 2021 Dell Inc. All rights reserved.

本製品には、カリフォルニア大学バークレイ校とその貢献者に よって開発されたソフトウェアが含まれています。

PDFマニュアルの見方

Adobe Reader で PDF マニュアルを見る際の基本的な 操作をAdobe Reader Xで表示したときを例に説明しま す。



- PDF マニュアルを印刷するときにクリックします。
- 2 クリックするたびに、しおりを閉じたり表示したりします。
- タイトルをクリックすると該当のページが表示されます。

[+] をクリックすると、下の階層のタイトルが表示 されます。

④参照先が青字で記載されているときは、青字の部分 をクリックすると該当のページが表示されます。 元のページに戻るときは、以下のように行います。

Windows の場合

Alt キーを押したまま←キーを押します。

Mac OS X の場合

- command キーを押したまま←キーを押します。
- 6 確認したい項目名などキーワードを入力して検索ができます。

Windows の場合

PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで [簡易検索] を選択すると、検索ツールバーが表示されます。

Mac OS X の場合

[編集] メニューで [簡易検索] を選択すると、検索 ツールバーが表示されます。 ⑤ 表示中の文字が小さくて見えにくいときは ● をク リックすると拡大します。● をクリックすると縮 小します。イラストや画面図など拡大する部分を指 定するには、以下のように行います。

Windows の場合

PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで[マーキーズーム]を選択します。 ポインターが虫眼鏡に変わりますので拡大したい箇 所を範囲指定します。

Mac OS X の場合

[表示] メニュー - [ズーム] - [マーキーズーム] の 順にクリックすると、ポインターが虫眼鏡に変わり ます。そのまま虫眼鏡のポインターで拡大したい箇 所を範囲指定します。

前ページ / 次ページを表示します。

もくじ

PDF マニュアルの見方3
設定の前に5
動作環境 … 5 印刷環境の確認 … 6
ネットワークインターフェイスの設定8
設定方法の紹介 … 8
印刷をするコンピューターの設定10
Windows 10 Mac OS X 14
設定 / 印刷で困ったときは
設定や印刷に関するトラブル 15 Mac OS に関するトラブル 17
EpsonNet ソフトウェアのご案内
印刷用ソフトウェア … 18 設定ソフトウェア … 18 管理ソフトウェア … 19 EpsonNet ソフトウェアを入手するには … 19 EpsonNet Config (Web)、Remote Manager の 使い方 … 19 ソフトウェア使用時のトラブル … 22
セキュリティー通信(IEEE802.1X)
必要な機器と認証の流れ 25 本製品の設定 26 設定や使用時のトラブル 27
セキュリティー通信(IPsec/ アクセス制御) 30
概要と設定例 … 30 セットアップの流れ … 32 本製品のセキュリティーポリシーの設定 … 33 コンピューターの設定 … 36 設定や使用時のトラブル … 40
セキュリティー通信 (SSL)
必要な設定 … 42 設定方法 … 43 設定や使用時のトラブル … 44
電子証明書
自己署名証明書の作成・更新 … 45 CA 署名証明書の入手(CSR の作成)… 46 証明書のインポート … 47 証明書のバックアップ … 47 証明書の復元 … 47 証明書の削除 … 48 設定や使用時のトラブル … 48
付録
EpsonNet ソフトウェアの削除方法 … 50 ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識 … 52 プリンターを共有するには … 55 PING コマンドによる通信確認方法 … 65

設定の前に

ネットワークインターフェイスの機能や動作環境と、導入作業の概要などを説明します。

動作環境

本製品のネットワークインターフェイスの動作環境および印刷方法を説明します。本製品の対応 OS はプリンターのマニュアルを参照してください。

以下を参照して、お使いの環境に対応しているか確認してください。

OS	対応プロトコルおよび印刷方法	IPv4	IPv6*
Windows XP	TCP/IP (標準 TCP/IP 印刷)	0	×
Windows Server 2003	TCP/IP(EpsonNet Print 印刷)	0	×
Windows Vista	TCP/IP (標準 TCP/IP 印刷)	0	0
Windows Server 2008 Windows Server 2008 R2(64 ビット版 のみ) Windows 7 Windows 8 Windows 8.1 Windows Server 2012	TCP/IP(EpsonNet Print 印刷)	0	×
Mac OS X v10.6.8 以降	EPSON TCP/IP	0	0
	Bonjour	0	0

* 本製品が対応しているかは、プリンター本体の製品仕様を確認してください。

印刷環境の確認

本製品の設定を始める前に、以下を参照してお使いのネットワーク環境と手順を確認します。

接続方法の確認と導入手順

ネットワーク環境で本製品を使うには 2 つの接続方法があります。以下の説明を参考に、どの接続方法を使用するか決 定してから導入手順を確認してください。



直接接続や、サーバー経由接続でサーバーとプリンターを直接接続するときは、動作環境で印刷方法を確認します。サーバー経由接続でサーバーとプリンターをローカル (USB ケーブル) 接続する場合は、プリンターのマニュアルを参照してサーバーとプリンターを接続してください。

印刷方法の概要と特徴

EpsonNet Print 印刷(TCP/IP プロトコルを使用)

- ネットワークインターフェイスの IP アドレスが、サーバーやルーターの DHCP 機能によって変更になっても、IPv4 アドレスを自動追従します。
- ルーターを越えた場所にあるプリンター(別セグメントのプリンター)を使用できます。
- 印刷データの送信プロトコル(LPD/Epson 拡張 LPD/RAW)を使い分けることで、印刷方法を3種類から選択できます。
- Windows のスプーラー画面の上部に、本製品のステータスを表示します。
- IPv6 アドレスには対応していません。

標準 TCP/IP 印刷(TCP/IP プロトコルを使用)

- Windows に標準搭載されている印刷方法です。
- ルーターを越えた場所にあるプリンター(別セグメントのプリンター)を使用できます。
- イベントビューアーを使用して印刷ログ(記録)が取れます。
- IP アドレスの設定が必要です。

EPSON TCP/IP 印刷

- サーバーやルーターの DHCP 機能によって変更になっても、本製品の IP アドレスを設定し直す必要がありません。
- 本製品を固定 IP アドレスで使用するときは、IP アドレスを手動設定することもできます。

Bonjour 印刷

• 本製品の IP アドレスが、サーバーやルーターの DHCP 機能によって変更になっても、設定し直す必要がありません。

ネットワークインターフェイスの設定

コンピューターのネットワークが設定済みであることを確認してから、ネットワークインターフェイスを設定します。 ネットワークインターフェイスの設定を始める前に、プリンターが印刷可能な状態か確認してください。プリンターが セットアップされていないときは、プリンターのマニュアルを参照してください。

設定方法の紹介

本製品のネットワークインターフェイスを設定するには、2つの方法があります。

- 本製品の操作パネルで設定する
- ソフトウェアを使って設定する

各設定方法の詳細を確認して、設定方法を決定してください。

本製品の操作パネルで設定

本製品のディスプレイの表示を見ながらボタンを操作して、ネットワーク項目を設定します(ディスプレイの無い機種は 非対応)。

設定ソフトウェアで設定

設定ソフトウェアには以下のものがあります。

- EpsonNet Setup
- EpsonNet Config
- Remote Manager

各ソフトウェアの詳細を以下に説明します。

EpsonNet Setup

ウィザード形式で、簡単に IPv4 アドレスの設定ができるソフトウェアです。本ソフトウェアはソフトウェアディスクか ら起動、または< http://epson.sn >からダウンロードして起動します。起動した画面の指示に従って設定を進めます。 Windows では、IPv4 アドレス設定後にプリンタードライバーと EpsonNet Print をインストールして、直接印刷用の プリンターポートを自動作成します。

Mac OS では、IPv4 アドレスのみ設定します。

それ以外の項目(IPv6、DNS サーバーの登録、SNMP など)の設定は、EpsonNet Config で設定してください。 詳細はプリンターのマニュアルを参照してください。

EpsonNet Config

ネットワークインターフェイスの各種アドレスや名称などを設定するソフトウェアです。Windows 版、Mac OS 版、 Web 版があります。 Windows 版、Mac OS 版はコンピューターにインストールしてから使用します。

使い方の詳細は、ソフトウェアのマニュアルまたはヘルプを参照してください。

Web 版はネットワークインターフェイスに内蔵されており、コンピューターの Web ブラウザーなどから起動します。 ネットワークインターフェイスの設定のほかに、プリンターの消耗品の確認や各種設定ができます。ただし Web 版は、 ネットワークインターフェイスおよびコンピューターに IP アドレスが設定されている環境でのみ使用できます。 使い方の詳細は、以下のページに進みます。

🕝 19ページ「EpsonNet Config (Web)、Remote Managerの使い方」

Remote Manager

EpsonNet Config (Web) と機能はほぼ同じです。詳細は上記の EpsonNet Config (Web) 版の内容をご覧ください。

印刷をするコンピューターの設定

ネットワークに接続した本製品に印刷するには、プリンタードライバーのインストールとプリンターポートの設定が必要です。 ここではインストールと設定の手順を OS 別に説明します。

Windows

1

プリンターポートの設定を開始する前に、本製品のプリンタードライバーがインストールされていることを確認してくだ さい。

「印刷環境の確認」で選択した印刷方法に応じて、セットアップをします。

各印刷方法の詳細は、以下のページに進みます。

☎ 10ページ「EpsonNet Print (LPR) で印刷する」

Microsoft ネットワークプリンター共有で印刷する方法や、WSD を使用したセットアップ方法は各 OS の説明書を参照してください。

EpsonNet Print(LPR)で印刷する

EpsonNet Print ソフトウェアを使用して、本製品に印刷データを直接送る設定をします。 EpsonNet Print をインストールしてから、プリンターポートの設定をします。詳細は、ソフトウェアのマニュアルを 参照してください。

標準 TCP/IP(LPR)で印刷する

ここでは、標準 TCP/IP 印刷(Standard TCP/IP)の設定手順を説明します。

[スタート] メニューから [デバイスとプリンター] を開きます。

Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012: [コントロールパネル] - [デバイスとプリンターの表示] の順にクリック

Windows Vista/Windows Server 2008: [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタ] の順にクリック

Windows XP/Windows Server 2003: [スタート] - [プリンタと FAX] の順にクリック

2 【プリンターの追加】をクリックします。

Windows Vista/Windows Server 2008: [プリンタのインストール] をクリック

Windows XP: [プリンタのインストール] - [次へ] の順にクリック

Windows Server 2003: [プリンタの追加] をダブルクリックして、[次へ] をク リック



3 [ローカルプリンターを追加します] をクリックし ます。

Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012:

[探しているプリンターはこの一覧にはありません] をク リック

[ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを 手動設定で追加する]を選択して [次へ] をクリック

Windows XP/Windows Server 2003:

[このコンピュータに接続されているローカルプリンタ] を選択します。[プラグアンドプレイ対応プリンタを自動 的に検出してインストールする]のチェックを外して、 [次へ]をクリック

4 [新しいポートの作成]を選択します。[Standard TCP/IP Port]を選択して、[次へ]をクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003:

[新しいポートの作成] - [Standard TCP/IP Port] を 選択して [次へ] をクリックし、[標準 TCP/IP プリンタ ポートの追加ウィザード] が表示されたら、[次へ] をク リック

5 [ホスト名または IP アドレス] 項目にネットワーク インターフェイスの IP アドレスを入力して、[次 へ] をクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003:

6

[プリンタ名または IP アドレス]項目にネットワークイ ンターフェイスのIPアドレスを入力して[次へ]クリック [標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了] 画面が表示されたら[完了]をクリック

イン	ストールするプリンターの種類の道沢
+	ローカル プリンターを追加します(L) USB プリンターがない場合のみこのオプションを使用してください (USB プリンターはプ インされたときに自動的にインストールされます)。
•	ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth ブリンターを追加します(W)
	コンピューターがネットワークに接続されているか、または Bloetooth プリンターがワイ スプリンターがオンになっていることを確認してください。
	コンピューターがネットワークに接続されているか。または Bluetooth プリンターがひ スプリンターがオンになっていることを確認してください。

THE P P P P VIELO	
プリンター ボートの道訳	
プリンター ポートによってコンピュータ	コーガブリンターと情報を交換できるようになります。
〇 既存のポートを使用(以):	[LPT1: (プリンター ポート]
新しんポートの作成(C):	
ホートの種類に	Standard TCP/IP Port



[製造元]から [Epson]を選択し、[プリンター] で本製品を選択して [次へ] をクリックします。

7 [プリンター名]を確認し [次へ]をクリックして、表示された画面の指示に従って設定を終了します。 以上で終了です。

設定したコンピューターをプリントサーバー、プリンターを共有プリンターとして使用するときは、以下を参照してください。

▲ 55ページ「プリンターを共有するには」

ポート構成の確認

1

2

Windows XP/Windows Server 2003 以外で、標準 TCP/IP ポートを使用してネットワーク印刷をするときは、以下の設定になっていることを確認してください。この設定がされていないと正しく印刷できないことがあります。

[スタート] メニューから [デバイスとプリンター] を開きます。

Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012: [コントロールパネル] - [デバイスとプリンターの表示] の順にクリック

Windows Vista/Windows Server 2008:

[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタ] の順にクリック

対象プリンターのアイコンを右クリックして、【プリンターのプロパティ】をクリックします。

Windows Vista:

対象プリンターのアイコンを右クリックして、[管理者として実行] - [プロパティ] の順にクリック

Windows Server 2008:

対象プリンターのアイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリック

3 [ポート] タブをクリックし、[標準の TCP/IP ポート]を選択して、[ポートの構成]をクリックします。

EPSON LP-XXXX	Xのプロパティ		X
全般 共有 ポー	ト 細設定 色の管	「理 セキュリティ 環境	設定 ユーティリティー
EPSON	I LP-XXXXX		
印刷するポート(<u>P</u>) ドキュメントは、チェッ! で印刷されます。	クボックスがオンになってい	いるポートのうち、最初に	利用可能なもの
ポート 説明	月	プリンター	*
🔲 COM1: シリ	アル ポート		
🔲 COM2: シリ	アルボート		
COM3: 50	アルホート		=
EILE: 77	7ルホート イルへ出力		
USB001 US	R の仮相づいねー		
☑ 192.1 標證	集の TCP/IP ポート	EPSON LP-XXXXX	-
ポートの追加(<u>T</u>) ポートの#	削除(<u>D)</u> ポー	・トの構成(<u>C</u>)
☑ 双方向サポートを	と有効にする(<u>E</u>)		
🔲 プリンター プールる	と有効にする(<u>N</u>)		
	OK \$++>>t	2ル 通用(A)	

4 ポートモニター構成が以下のどちらかになってい ることを確認します。

LPR の場合

[プロトコル] で [LPR] が選択され、[LPR 設定] の [LPR バイトカウントを有効にする] にチェックが付い ていることを確認

LPR の場合

標準 TCP/IP ポート モニター	の構成		×
ポートの設定			
ポート名(<u>P</u>):		XXX.XXX.XXX.XXX	
プリンター名または IP アドレス(<u>A)</u> :	XXX.XXX.XXX.XXX	
プロトコル			
Raw(<u>R</u>)			
Raw 設定			
ホート番号(№):	515		
LPR 設定			
キュー名(<u>Q</u>):	LPR		
✓ LPR バイト カウントを有効	効にする(<u>E</u>	<u>3)</u>	
SNMP ステータスを有効	にする(<u>ら</u>)		
コミュニティ名(<u>C</u>):	public		
SNMP デバイス	1		
1.23 WX(U):			
		OK +++>t	ZJU

RAW の場合

[プロトコル] で [RAW] が選択されていることを確認

RAW の場合

標準 TCP/IP ポート モニター(の構成		×
ポートの設定			
ポート名(P):		XXX.XXX.XXX.XXX	
プリンター名または IP アドレス(<u>A</u>):	XXX.XXX.XXX.XXX	
) LPR(<u>L</u>)	
Raw 設定 ポート番号(<u>N</u>):	9100		
LPR 設定 キュー名(Q):			
LPR バイト カウントを有効	防にする(旦	<u>)</u>)	
SNMP ステータスを有効	にする(<u>ら</u>)		
コミュニティ名(<u>C</u>):	public		
SNMP デバイス インデックス(<u>D</u>):	1		
L		ОК	キャンセル



[OK] をクリックします。

EPSON LP-X	xxxxのプロパティ	·			.
全般 共有	ポート 詳細設定	色の管理	セキュリティ	環境設定	ユーティリティー
ef	PSON LP-XXXXX				
印刷するポート ドキュメントは、 で印刷されます	(E) チェック ボックスがオンバ ・	こなっているオ	ートのうち、毎	最初に利用可	能なもの
ポート	説明	プ	レター		*
COM1:	シリアル ボート				
COM2:	シリアル ポート				
COM3:	シリアル ポート				E
COM4:	シリアル ポート				
FILE:	ファイルへ出力				
USB001	USB の仮想プリング	9			
192.1	標準の TCP/IP ホ	-h ep	SON LP-XX	XXX	Ψ.
ポートの追	加(<u>工</u>) 7	ポートの削除	(<u>D</u>)	ポートの構	成(<u>C</u>)
אינסולעג 💌	- I~ど作X別に9る(上)				
□ ノリンター フ	ールを何めにする(<u>N</u>)				
6					
	OK	キャンセル	通用	Ħ(A)	ヘルプ

以上で終了です。

Mac OS X

プリンタードライバーをインストールした後に、プリンターをセットアップします。印刷方法は、EPSON TCP/IP、 Bonjour の中から選択できます。



2

プリンタードライバーがインストールされていることを確認します。

インストールされていないときは、プリンターのマニュアルを参照してプリンタードライバーをインストールしてください。

プリンターの電源が入っていること、LAN ケーブルで接続されていることを確認してください。

3 アップルメニューー [システム環境設定] から [プ リントとスキャン] (または [プリントとファクス]) を開きます。

000		システム	環境設定			
▲ ▶ すべてを表	示				<u>୍</u> ୟ	
パーソナル						
New Main		7	0	O	Q	
一般 デスクトップ スクリーンセ	ブと Dock	Mission Control	言語と テキスト	セキュリティと プライパシー	Spotlight	ユニバーサル アクセス
ハードウェア						
S 💻	P				8	0
	イ 省エネルギー	キーボード	マウス	トラックパッド	フリントとスキャン	サウンド
インターネットとワイ	ヤレス					
@		8	•			
メール/連絡先/ MobileM カレンダー	e ネットワーク	Bluetooth	共有			
システム			2			
💶 🔥		()		۲		
ユーザと ペアレンタ グループ コントロー	ル 日付と時刻 ル	ソフトウェア アップデート	スピーチ	Time Machine	起動ディスク	

4 [+] をクリックします。

 ● ○ ○ プリ ▲ ▶ すべてを表示 	ントとスキャン	Q	
793	利用できるブリンタがあ クタを設定するには、通加(+)	iりません をクリックします。	
デフォルトのプリンタ:	最後に使用したプリンタ	\$	
デフォルトの用紙サイズ:	A4	\$	
📔 変更できないようにするにはカギをクリックし	ます。		?

本製品をクリックして、[追加] をクリックします。

(参考) [ドライバ]に本製品が表示されていないときは、本製品 を選択し直してから [追加]をクリックしてください。

11-1-1-1-1		201 907
-XXXXX 192.	168.192.168 (IP)	EPSON TCPIP
名前:	xx-xxxxx	
名前: 場所:	XX-XXXXXX	
名前: 場所:	XX-XXXXXX	

以上で終了です。

設定 / 印刷で困ったときは

ここでは、困ったときの対処方法を説明します。

設定や印刷に関するトラブル

ネットワーク設定ができない / ネットワーク印刷ができない



TCP/IP で使用するときは、コンピューターとプリンターが通信できていますか? 本書の「PING コマンドによる通信確認方法」を参照して、通信できているか確認してください。

🖅 65 ページ 「PING コマンドによる通信確認方法」

通信できていないときは、以下の「ハブ、LAN ケーブルなどは正常に機能していますか?」や「TCP/IP で使用するときは、IP アドレスがお使いの環境で有効な値に設定されていますか?」を参照してください。



ハブ、LAN ケーブルなどは正常に機能していますか?

本製品の電源が入っていて、本製品を接続しているハブの、ポートのリンクランプが点灯または点滅しているか確認し てください。リンクランプが消灯しているときは、以下を確認してください。

- ほかのポートに接続してみる
- ほかのハブに接続してみる
- LAN ケーブルを交換してみる

以上を確認しても通信ができないときは、本製品が故障している可能性があります。プリンターのマニュアルを参照してください。

WSD を使用してセットアップできない





本製品の WSD を有効にしていますか?

購入時は、WSD が無効になっています。 操作パネルか EpsonNet Config を使って有効にしてください。



ご使用のコンピューターの OS は Windows XP/Windows Server 2003 以外ですか? WSDはWindows XP/Windows Server 2003以外のOSの標準のプロトコルです。Windows XP/Windows Server 2003 では使用できません。



セットアップに失敗していませんか?

各 OS の説明書を参照してセットアップをやり直してください。

設定する IPv4 アドレスがわからない



設定した IP アドレスが変わってしまう

ルーターなどで DHCP 機能を使用していませんか?

DHCP 機能で本製品に IP アドレスを設定すると、プリンターの電源を入れるたびにコンピューターに設定したプリンターポートを変更しなければなりません。

以下のいずれかの方法で本製品に固定の IP アドレスを設定することをお勧めします。

- DHCP機能を持つ機器のスコープ(クライアントに割り当てるIPアドレスの範囲)の範囲外のIPアドレスを設定する。
- DHCP 機能を持つ機器のバインドを使用して、本製品を特定する。
- DHCP 機能を持つ機器で除外アドレスに設定する。

 スコープ範囲、バインド、除外アドレスなどの設定方法は、ルーターなど DHCP 機能を持つ機器のマニュアル を参照してください。

ただし、EpsonNet Print によるプリンターポートの設定や EPSON TCP/IP、Bonjour 印刷(Mac OS X で Bonjour を使用のとき)では DHCP 機能が使用できます。



本製品の [TCP/IP] - [IPv6 設定] 画面で [匿名アドレス] を有効にしていませんか?

本製品の [匿名アドレス] が有効で、IPv6 ルーターを接続しているときは、ステートレス自動設定により、プリンター を起動するたびに変化するアドレスを使用している可能性があります。

以下の固定アドレスを使用してください。

- リンクローカルアドレス
- 手動設定アドレス
- プリンター起動ごとに変化しないステートレスアドレス

Mac OS に関するトラブル

プリンターの追加で本製品が表示されない



プリンタードライバーをインストールしていますか?

プリンターのマニュアルを参照してプリンタードライバーをインストールしてください。



コンピューターにネットワーク設定をしていますか?

各プロトコルによって設定が異なります。以下の設定になっているか確認してください。

- EPSON TCP/IP の場合
 [システム環境設定]の[ネットワーク]で、各種アドレスが設定されているかネットワークインターフェイスに工場
 出荷時以外の正しい IP アドレスが設定されているか。
- Bonjour の場合
 EpsonNet Config (Mac OS) [デバイスのプロパティー] 画面の [TCP/IP] [Bonjour] で [Bonjour を使用 する] にチェックが付いているか。

Bonjour で印刷できない



大きなデータの印刷や大きな用紙に印刷していませんか?

Bonjour では、大きなデータや用紙を印刷するときに、Mac 側 HDD に多くの空き容量を必要とすることがあります。 EPSON TCP/IP 印刷は、Bonjour に比べて同等かあるいはより少ない HDD の空き容量で印刷が可能です(必要とする HDD の空き容量は、用紙サイズ、印刷データ、印刷設定などにより変動します)。 プ 14ページ [Mac OS X]

EpsonNetソフトウェアのご案内

ここでは、本製品で利用できるエプソンのネットワークソフトウェアについて説明します。 EpsonNet ソフトウェアのインストールやダウンロードの方法は、以下のページを参照してください。 *△* 19ページ「EpsonNet ソフトウェアを入手するには」

印刷用ソフトウェア

Windows でネットワーク印刷をするときに使用するソフトウェアです。OS 標準搭載の印刷方法以外で印刷するときに使用します。

●直接印刷ソフトウェア(EpsonNet Print)

- スプーラー画面にプリンターのステータスを表示できます。
- IPv4 アドレスを自動追従するため、ネットワークインターフェイスのアドレスが DHCP 機能によって自動的に割り 当てられても、プリンターポートの設定変更が不要です。
- ルーターを越えた場所にあるプリンター(別セグメントのプリンター)をLPR プリンターとして使用できます。
- 印刷データの送信プロトコル(LPD/Epson 拡張 /RAW)を使い分けることで、印刷方法を3種類から選べます。
- IPv6 アドレスには対応していません。

設定ソフトウェア

本製品のネットワークインターフェイスの設定を、コンピューターから設定するときに使用するソフトウェアです。

●簡易ネットワーク設定ソフトウェア(EpsonNet Setup)

ウィザード形式で、簡単に IPv4 アドレスの設定ができるソフトウェアです。本製品のソフトウェアディスクから起動、 または< http://epson.sn >からダウンロードして起動します。起動した画面の指示に従って設定を進めます。 Windows ではアドレス設定後にプリンタードライバーと EpsonNet Print をインストールして、直接印刷用のプリン ターポートを自動作成します。

Mac OS ではアドレスの設定のみします。

それ以外の項目(IPv6、DNS サーバーの登録、SNMP など)の設定は、EpsonNet Config で設定してください。 詳細はプリンターのマニュアルを参照してください。

●ネットワーク設定ソフトウェア(EpsonNet Config)

ネットワークインターフェイスの各種アドレスやプロトコル(TCP/IP、SNMP)などが設定できるソフトウェアです。 使い方の詳細はソフトウェアのマニュアルを参照してください。

●ネットワーク設定ソフトウェア(EpsonNet Config(Web)版、Remote Manager)

ネットワークインターフェイスに内蔵されているソフトウェアです。

ネットワーク上のコンピューターで、Web ブラウザーなどから起動します。ネットワークインターフェイス設定(TCP/IPなど)とプリンター設定(消耗品の確認や各種の確認・設定など)ができます。

EpsonNet Config (Web) や Remote Manager は、ネットワークインターフェイスおよびコンピューターに IP アドレスが設定されていないと使えません。初めて設定するときは EpsonNet Config (Windows) / (Mac OS) をお使いください。

管理ソフトウェア

●プリンタードライバー導入支援ソフトウェア(EpsonNet SetupManager)

ネットワークプリンターのドライバーインストールからプリンターポートの設定までを、自動的に実行するインストールパッケージを作成できるソフトウェアです。

対応機種はエプソンのホームページ<http://www.epson.jp/products/offirio/sw/printing/index.htm>を参照して ください。

管理者はグループごと、部署ごとに使用するプリンタードライバーのパッケージを一括して作成でき、作成したインストールパッケージをクライアント側のコンピューターで実行するだけでクライアントの印刷環境が作成されます。そのため、管理者がしているプリンタードライバー配布やインストール作業を大幅に軽減します。

EpsonNet ソフトウェアを入手するには

入手するには、直接エプソンのホームページにアクセスしてダウンロードしてください。

アドレス:http://www.epson.jp/

ソフトウェアと一緒に各ダウンロードサイトに掲載のマニュアルも入手してください。入手したマニュアルの内容を確認 してから、各ソフトウェアを設定してください。

EpsonNet Config(Web)、Remote Manager の使い方

EpsonNet Config (Web) や Remote Manager は、Web ブラウザーからネットワークインターフェイスおよびプリ ンターを設定するソフトウェアです。また本製品の操作パネルで行う各種項目も、本ソフトウェア経由で設定できます。

Web ブラウザーの設定に関する注意

プロキシサーバーを使用する場合と使用しない場合で、Web ブラウザーの設定が異なります。

ここでは Windows 7 版の Windows Internet Explorer 8.0 を例に、プロキシサーバーを使用する場合と使用しない 場合の設定を合わせて説明します。



Windows Internet Explorer を起動します。



2

3

[ツール] – [インターネットオプション] をクリックします。

[接続] タブをクリックして、[LAN の設定] をク リックします。

インターネット オプション	? 💌
全般 セキュリティ プライバシー コンテン 接続 10グラ.	ム 詳細設定
インターネット接続を設定するには、 [セットアップ] をクリックしてください。	セットアップ(山)
ダイヤルアップと仮想プライベート ネットワークの設定	
	追加(D)
	VPN の追加(P)
	削除(<u>R</u>)
プロキシ サーバーを構成する必要がある場合は、 [設定] を選択してください。	設定(<u>S</u>)
 ◎ ダイヤルしない(①) ○ ネットワーク接続が存在しないときには、ダイヤルする(型) ○ 通常の接続でダイヤルする(②) 	
現在の既定値: なし	既定(:設定(E)
ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定	
LAN の設定はダイヤルアップ接続には適用されません。ダイ ヤルアップには上の設定を選択してください。	LAN の設定(L)
OK	ンセル 適用(A)

4 プロキシサーバーを使う場合、使わない場合ごとに 設定を確認します。

プロキシサーバーを使用する:

[LAN にプロキシサーバーを使用する] にチェックを付ける

プロキシサーバーを使用しない:

[LANにプロキシサーバーを使用する]のチェックを外す



起動

EpsonNet Config(Web)やRemote Managerのインストールは不要です。ただし、以下の設定をしておいてください。 ① 設定に使うコンピューターへの IP アドレス設定

② 設定に使うコンピューターへの Web ブラウザーのインストール

③ ネットワークインターフェイスへの IP アドレス設定

<u>
主要</u>
EpsonNet Config (Windows) / (Mac OS) と EpsonNet Config (Web) / Remote Manager から、同じネッ トワークインターフェイスに対して同時に設定しないでください。



▶ お使いの Web ブラウザーによっては、入力できる文字種の制限があります。詳細は、お使いの Web ブラウザーおよび OS の説明書を参照してください。

Web ブラウザーから起動

Windows の場合は Web ブラウザーを起動しネットワークインターフェイスの IP アドレスをアドレスバーに入力して、 [Enter] または [return] キーを押します。

このとき、EpsonNet Config (Windows) / (Mac OS) を起動させないでください。

書式) http:// ネットワークインターフェイスの IP アドレス / または http:// ネットワークインターフェイスのホスト名. ドメイン名 /

例: IPv4) http://192.168.100.201/

IPv6 のときは、ネットワークインターフェイスの IP アドレスを [] で囲みます。

例: IPv6 手動設定アドレス) http://[2001:db8::1000:1]/



Windows Server 2008の Windows Internet Explorer で本ソフトウェアを起動時に警告画面が表示されたときは、内容を確認して〔追加〕をクリックしてください。

Mac OS X で Safari から起動するときは、以下の手順で起動してください。

メニューから [Safari] - [環境設定] を選択します。

[ブックマーク]ウィンドウで、以下の項目にチェックを付けます。

ブックマークバー:Bonjour を表示 ブックマークメニュー:Bonjour を表示



1

2

アドレスバー下のメニューに追加された [Bonjour] をクリックし、リストから本製品 (Bonjour プリンター 名)を選択します。

EpsonNet Config (Web) または Remote Manager が Safari 上に表示されます。表示されないときは、本製品の Bonjour 機能が有効になっているか確認してください。このとき、EpsonNet Config (Windows) / (Mac OS) は 起動しないでください。

EpsonNet Config(Windows)/(Mac OS)から起動

EpsonNet Config (Windows) / (Mac OS) のリスト画面から、本製品を選択して [ブラウザーの起動] をクリック します。IPv6 では非対応です。

ネットワークマップから起動

Windows Vista/Windows 7では、OS に搭載されているネットワークマップから起動できます。

[スタート] - [コントロールパネル] - [ネットワークの状態とタスクの表示] - [フルマップの表示] の順にクリックして、表示された画面でプリンターをクリックします。

本製品の LLTD 機能をソフトウェアなどで [無効] または [Off] に変更したときは、ネットワークマップに表示されません。

ソフトウェア使用時のトラブル

EpsonNet Config、Remote Manager が起動または設定できない



ソフトウェアインストール後に、プロトコルやサービスを変更しましたか?



コンピューターにネットワーク設定をしていますか?

コンピューターにネットワーク設定をしていないと、「ネットワークがインストールされていないため、EpsonNet Config (Windows)を使用することはできません」というメッセージが表示されます。

- このメッセージは、以下のようなときに表示されます。
- コンピューターに TCP/IP プロトコルが組み込まれていない
- コンピューターに TCP/IP プロトコルが組み込まれているが、IP アドレスが正しく設定されていない
- コンピューターにTCP/IPプロトコルが組み込まれており、各種アドレスを自動取得する設定になっているが、DHCP サーバーが応答していない

表示されたメッセージで [OK] をクリックすると EpsonNet Config (Windows) を起動できますが、TCP/IP の設定はできません。お使いのコンピューターのネットワーク設定をしてください。

本製品に IPv4 アドレスを設定していますか?

EpsonNet Config (Web) や Remote Manager を起動するには、先に EpsonNet Config (Windows) / (Mac OS)、または本製品の操作パネルで IP アドレスを設定してください。現在の設定は、ネットワークステータスシートの [IP Address] 欄で確認できます。 プリンターのマニュアル



SSL/TLS 通信設定の暗号化強度を [High] に設定していませんか?

暗号化強度を [High] に設定すると、256 ビットをサポートしているブラウザーでないと Remote Manager を起動 できません。ブラウザーの暗号化強度の対応ビットをご確認ください。



Remote Manager に SSL 通信 (https) で接続した際に、有効期限が切れているなどの警告が表示されませんか?

証明書の有効期限が切れている際は、証明書を取得し直してください。証明書の有効期限内に表示されるときは、本製 品の時計機能の時刻が正しく設定されているか確認してください。



Remote Manager に SSL 通信(https) で接続すると、以下のようなメッセージが表示されませんか?

- 別の Web サイトのアドレス用に発行されたものです。
- この証明書は・・・にだけ有効なものです。
- ホスト名が一致しません

自己署名証明書またはCSRを作成した際の[コモンネーム]で記述したアドレスとブラウザーに入力したアドレスが一致していません。

設定ソフトウェア起動時に製品名 /IP アドレスが表示されない



1

2

[Windows セキュリティの重要な警告]画面やファイアウォールソフトが表示した画面で、[ブロックする]、 [キャンセル] や [遮断する] を選択しましたか?

[ブロックする]、[キャンセル] や [遮断する] を選択すると通信ができなくなるため、EpsonNet Setup (Windows) または EpsonNet Config (Windows) で製品名が表示されません。

通信を可能にするには、Windows ファイアウォールや市販のセキュリティーソフトで例外アプリケーションとして登録 してください。

市販のセキュリティーソフトの中には、以下の作業をしても表示できないことがあります。そのときは、市販のセキュリティーソフトを一旦終了してから、本ソフトウェアを使用してみてください。

Y重要 Windows ファイアウォールに例外登録すると、登録されたプログラムが使用するポートが外部からの通信を受け付けられるようになります。これは、ネットワーク経由の攻撃などセキュリティー上の危険性を高めたポートとなることを意味します。具体的なリスクとしては、コンピューターウィルスの侵入などが考えられます。 Windows ファイアウォールの設定変更につきましては、このようなリスクなどもご確認の上、お客様の責任において実施していただきますようお願いいたします。 弊社は、この設定変更によって生じた損害および障害につきましては一切責任を負いません。

[スタート] メニューから [コントロールパネル] を開きます。

[システムとセキュリティ] をクリックします。

Windows Vista:

- [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可] をクリック
- ② [ユーザーアカウント制御] 画面が表示されるので [続行] をクリック
- ③ 手順 4 に進む

Windows Server 2008:

手順 3 に進む

Windows XP/Windows Server 2003:

[セキュリティセンター] をクリック

3

[Windows ファイアウォールによるプログラムの 許可] をクリックします。

Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012:

[Windows ファイアウォールによるアプリケーション の許可] をクリック

Windows Server 2008:

[Windows ファイアウォール] – [Windows ファイア ウォールの有効化または無効化]をクリック

Windows Vista/Windows XP/ Windows Server 2003:

[Windows ファイアウォール] をクリックして、開いた 画面で [例外] タブー [プログラムの追加] をクリック





4 [設定の変更] をクリックして、[EpsonNet Config] の [ホーム / 社内 (プライベート)] に チェックを付けます。

EpsonNet Setup (Windows) のときは、本製品のソ フトウェアディスク内の [ENEasyApp.exe] を選択し てください。ソフトウェアディスクを参照するには、ディ スクをコンピューターにセットして [別のプログラムの 許可] – [参照] をクリックしてください。

Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012:

[設定の変更] をクリックして、[EpsonNet Config] の [プライベート] にチェックを付ける

EpsonNet Setup (Windows) のときは、本製品のソフ トウェアディスク内の [ENEasyApp.exe] を選択してく ださい。ソフトウェアディスクを参照するには、ディスク をコンピューターにセットして [別のアプリの許可] – [参照] をクリックしてください。

Windows ファイアウォール経由の通信を 許可されたプログラムおよびボートを追加	ノログラムに計可します 0、変更、または削除するには、[設定の	変更) あわけゅわし	ΨT.
プログラムに通信を許可する危険性の詳細		「「日本の定当	E(N)
許可されたプログラムおよび機能(A):			
5.41	ホーム/社内 (プライベ		7 *
□ BranchCache - コンテンツ取得 (H	TTP を使用) ロ		
□BranchCache - ピア検出 (WSD を	使用) 🗆		-
BranchCache - ホスト型キャッシン	ロークライアン… ロー		
EpsonNet Config	×	M	
Media Center Extender	_	ī	
□ Netlogon サービス	-	_	
□Secure Socket トンネリング プロ	N=/L		
SNMP Trap			-
	I¥	HE(L) 削除(M)

Windows 7/Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012 以外:

[EpsonNet Config] を選択して [OK] をクリック

EpsonNet Setup (Windows) のときは、本製品のソフトウェアディスク内の [ENEasyApp.exe] を選択。ソフト ウェアディスクを参照するには、ディスクをコンピューターにセットして [参照] をクリック

5 [EpsonNet Config]の[ホーム/社内(プライベー ト)]、[パブリック] にチェックが付いていること を確認して [OK] をクリックします。

EpsonNetSetup (Windows) のときは、[EpsonNet Setup] の [ホーム / 社内 (プライベート)]、[パブリッ ク] にチェックが付いていることを確認して [OK] をク リック

Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012:

[EpsonNet Config]の[プライベート]、[パブリック] にチェックが付いていることを確認して[OK]をクリック

EpsonNetSetup (Windows) のときは、[EpsonNet Setup] の [プライベート] 、[パブリック] にチェック が付いていることを確認して [OK] をクリック

Windows 7/Windows 8/Windows 8.1/ Windows Server 2012以外:

[EpsonNet Config] が [プログラムおよびサービス](または [プログラムまたはポート])に登録され、チェックが 付いていることを確認して [OK] をクリック

EpsonNet Setup (Windows) のときは、[ENEasyApp.exe] が [プログラムおよびサービス] または [プログラム またはポート] に登録され、チェックが付いていることを確認してから [OK] をクリック

以上で終了です。



通信エラーとする時間を変更してみてください。

EpsonNet Config (Windows) / (Mac OS) の [ツール] – [オプション] – [タイムアウト] で、通信エラーと する時間を大きい値に変更してみてください。ただし、EpsonNet Config (Windows) / (Mac OS) の動作が遅く なる (検索に時間がかかります) ため注意してください。



セキュリティー通信(IEEE802.1X)

IEEE802.1X とは、機器をネットワーク接続する際に使用する認証規格です。IEEE802.1X を使用することで、あらかじめ決められた機器(認証を受けた機器)のみが、セキュリティーの確保されたネットワークに参加できるようになります。

ただし、一部のプリンターには対応していません。本製品が IEEE802.1X に対応しているかは、プリンターのマニュア ルで確認してください。

⊿雺 プリンターのマニュアル

必要な機器と認証の流れ

IEEE802.1X を利用するには、本製品とは別に RADIUS サーバー、および IEEE802.1X 認証に対応した LAN スイッチ(認証スイッチ)が必要です。

ネットワークの基本構成、および認証の流れは以下の通りです。



IEEE802.1X ネットワークの基本構成、および認証の流れ

本製品の設定

ここでは、本製品で設定する項目について説明します。

RADIUS サーバーと認証スイッチの設定は、それぞれの製品のマニュアルなどでご確認ください。

! 重要 設定には高度なネットワークの知識が必要です。

設定項目

Remote Manager の [Setup] タブー [セキュリティー] メニューー [IEEE802.1X] で以下の設定が必要です。

▲ 設定は、本製品を IEEE802.1X ネットワークに接続する前に、IEEE802.1X ネットワークから切り離されたネット
ワーク環境で行ってください。

- IEEE802.1X 機能
 IEEE802.1X を有効にします。
- EAP の種類(認証方式)
 IEEE802.1X で使用する認証方式を選択します。(EAP-TLS、PEAP-TLS、PEAP/MSCHAPv2から選択)
 クライアント証明書
- IEEE802.1X 認証で用いる CA 署名証明書を設定します。(認証方式が、EAP-TLS、PEAP-TLS の場合のみ) クライアント証明書として選択された CA 署名証明書とチェーン関係にある CA 証明書がある場合、ルートを除くそ れらの証明書も設定します。

• ユーザー ID

RADIUS サーバーへ通知するユーザー ID を設定します。

- パスワード ユーザーを認証するためのパスワードを設定します。(PEAP/MSCHAPv2の場合のみ)
- 暗号化強度

認証の際の SSL 通信に用いる暗号化強度を設定します。(High/Medium から選択)

必要に応じて以下の設定も可能です。何も設定されていない項目は無視されます。

サーバーID

設定した文字列が、RADIUS サーバーから送信されるサーバー証明書の subject フィールド、または subjectAltName フィールドに含まれているか検証します。特定の RADIUS サーバーのみで認証を行いたいときに使用します。

• 相手サーバー検証用 CA 証明書 設定した CA 証明書によって、RADIUS サーバーから送信されるサーバー証明書が信頼されているかを検証します。

- - RADIUS サーバーによっては、サーバー証明書とチェーン関係にある(信頼された)証明書を指定しても認証に失敗することがあります。サーバー証明書の送信仕様については、RADIUS サーバーのマニュアルなどで確認してください。
- Anonymous 名

PEAP 認証のフェーズ 1 において、ユーザー ID の代わりに匿名を使用したい場合に設定します。(認証方式が PEAP-TLS、PEAP/MSCHAPv2 の場合のみ)

▲ Anonymous 名を設定すると、RADIUS サーバーによっては認証に失敗する場合があります。Anonymous 名の使い 方については、RADIUS サーバーのマニュアルなどで確認してください。

設定や使用時のトラブル

設定、認証に失敗した場合は、ネットワークステータスシートで IEEE802.1X のステータスを確認してください。 ステータスシートの印刷方法は、プリンターのマニュアルをご覧ください。

ステータスシートに表示されるステータスコード、内容、およびエラーの場合の対処方法は以下の通りです。

ステータス ID:ステータス名称	内容	対処
0000 : 802.1x DISABLE	IEEE802.1X 機能が無効です。	操作パネルや Remote Manager で IEEE802.1X 機能を有効にしてください。
1000 : EAP SUCCESS	IEEE802.1X 認証に成功して、正常 に IEEE802.1X ネットワークに接 続されています。	
2000 : CERTING	IEEE802.1X 機能が有効で、 IEEE802.1X 認証の開始前、また は認証中です。	
1001 : CONFIG ERROR	設定内容に不足がある、または正し くありません。	IEEE802.1X の設定内容に間違いがないか確認し てください。
1002 : CLI CERT ERROR	クライアント証明書の有効期限が切 れています。	プリンターの日付・時刻設定が正しいか確認してく ださい。
		証明書の有効期限を確認してください。
2001 : TIMEOUT ERROR	RADIUS サーバー、認証スイッチか らの応答がありません。	ネットワーク環境に不具合がある可能性がありま す。ネットワーク環境を確認してください。
2002 : USERID ERROR	ユーザー ID が正しくありません。	設定したユーザーID に間違いがないか確認してくだ さい。
2003 : SERVERID ERROR	設定したサーバーIDが、証明書に記載されているサーバーIDと一致していません。	サーバーID の設定に間違いがないか確認してくださ い。
2004 : SERVER CERT ERROR	サーバーから受け取った証明書に不 備があります。	サーバー証明書の有効期限が切れていないか、また はサーバー証明書のチェーンに問題がないか確認し てください。
2005 : CA CERT ERROR	サーバー証明書認証用に指定されて いる CA 証明書に不備があります。	相手サーバー検証用 CA 証明書に指定した CA 証明 書が正しいか、有効期限が切れていないかを確認し てください。
2006 : EAP FAILURE	認証スイッチから Failure 応答を受 け取りました。	(ESP-TLS、PEAP-TLS 認証の場合) クライアント証明書の設定が正しいか確認してくだ さい。
		(PEAP/MSCHAPv2 認証の場合) ユーザー ID、パスワードが正しいか確認してくださ い。
3000 : OTHER ERROR	上記以外の原因で認証に失敗しました。	ネットワーク環境、および設定内容を確認してくだ さい。

<ネットワークステータスシートの表示例>

НННННННННННННННННННННННННННННННННННН HH Epson Network Status Sheet (2/3) HH НННННННННННННННННННННННННННННННН <ipsec></ipsec>		
Use IPSec/Access Control	Enable/Disable	
<ieee802.1x> Use IEEE802.1X Status</ieee802.1x>	Enable/Disable XXXX: XXXXXXX	
<ssl tls=""> Encryption Strength HTTPS Redirect</ssl>	High/Medium Enable/Disable	
<snmp> Read Community IP Trap 1 IP Trap Address 1 IP Trap Community 1 IP Trap Port 1 IP Trap Port 1 IP Trap Address 2 IP Trap Address 2 IP Trap Port 2 IP Trap Address 3 IP Trap Address 3 IP Trap Port 3 IP Trap Address 4 IP Trap Address 4 IP Trap Community 4 IP Trap Port 4</snmp>	XXXXXX Enable/Disable (NONE) (NONE) Enable/Disable (NONE) (NONE) (NONE) Enable/Disable (NONE) (NONE) (NONE) Enable/Disable (NONE) (NONE) (NONE) (NONE) (NONE) (NONE) (NONE)	
<time server=""> Use Time Server Time Server Address Synchronize Interval Time Server Status</time>	Enable/Disable (NONE) (NONE) Success/Failure/Invalid	
<idle timeout=""> LPR Port9100 WSD Print</idle>	XXX sec XXX sec XXX sec	
<e-mail server=""> SMTP Server Address SMTP Server Port Number SMTP Authentication Method SMTP Authentication Account POP3 Server Address POP3 Server Port Number POP3 Authentication Account</e-mail>	xxx.xxx.xxx.xxx xxx (NONE) (NONE) xxx.xxx.xxx.xxx xxx (NONE)	
<e-mail receive=""> POP3 Polling Period Communication Status</e-mail>	Disable Auto Checking/XX min XXXXXX	
НННННННННННННННН XX-XXXX Series НН		

Remote Manager にアクセスできない

IEEE802.1X 認証に失敗すると、Remote Manager にアクセスできなくなります。アクセスできなくなった場合は、 操作パネルで IEEE802.1X 機能を無効にしてから再起動してください。その後、IEEE802.1X ネットワークから切り 離されたネットワークに接続し、再度 Remote Manager にアクセスして必要な設定をしてください。

セキュリティー通信(IPsec/アクセス制御)

本製品をネットワークに接続して使用する際に、外部からの不正アクセス、ユーザーのなりすまし、データの盗聴/改ざ んなどの行為を防止できる機能です。

IPsec 通信/アクセス制御を設定することで、以下の機能が安全に使用できるようになります。

- ネットワーク経由の印刷
- ブラウザーによる製品の設定や管理

ただし、一部のプリンターには対応していません。本製品が IPsec 通信/アクセス制御に対応しているかは、プリンター のマニュアルで確認してください。 ⊿ プリンターのマニュアル

ここでは IPsec 通信/アクセス制御の設定例や、利用するための設定方法、トラブルシューティングなどを説明します。

概要と設定例

IPsec 通信とアクセス制御では、設定方法と制限できる通信方法が異なります。設定例を確認して目的に合った設定方 法を選択してください。

	IPsec 通信	アクセス制御
通信	保護された通信(暗号化)	保護されない通信
対象 OS	Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2008/Windows Server 2012	本製品が対応しているすべての OS
設定方法	本製品とクライアントに設定が必要	本製品に設定が必要、クライアントは設定不要
設定例	例1:IPsec 通信のみ受け付ける	例2:印刷用の通信のみ受け付ける 例3:特定の通信のみ受け付ける

本製品のセキュリティーポリシーの概要

- 「基本ポリシー」を1個、「個別ポリシー」を最大10個設定できます。
- 複数設定時は設定画面上位(「個別ポリシー 1」)から確認して、適合したポリシーがあれば終了(通信に移行)します。
- 設定画面上位の項目から確認するため、限定的なポリシーはベースになるポリシーより上位に設定します。

設定例1

この設定にすると本製品はクライアントから IPsec で保護された通信のみ受け付けます。通常の通信(IPsec で保護さ れていない)は受け付けません。



設定例2

この設定にすると、本製品は特定のクライアントから印刷用の通信のみ受け付けます。それ以外のクライアントからの通 信や、印刷用以外の通信は受け付けません。



設定例3

この設定にすると、本製品は特定のクライアントから特定の通信のみを受け付けます。

例えば、管理者用クライアントはすべての通信(製品の管理や印刷など)が可能だが、印刷用のクライアントは印刷に関わる通信のみ可能で、印刷用以外の通信はできないというようにクライアントごとにセキュリティーレベルを変更して利用できます。



セットアップの流れ

IPsec 通信の利用には、本製品とセキュリティー通信を利用するクライアントに、運用方法に合った設定が必要です。ア クセス制御の利用には、運用方法に合った設定が本製品に必要です。

セットアップの流れは以下の通りです。

すでにセキュアなネットワーク環境を構築しているときは、別のネットワーク環境で本製品とコンピューターを接続し (参考) てセットアップすることをお勧めします。運用中のセキュアなネットワーク環境に本製品を接続して設定するときは、 送信の際に盗聴されるおそれがあります。別のネットワーク環境に接続して設定ができないときは下記「※設定時の通 信を暗号化するには」の手順で設定してください。 ネットワークで接続 Remote Manager の設定 Gr 19 ページ [EpsonNet Config (Web)、 Remote Manager の使い方」 送信※ 運用方法ごとに必要な設定の詳細は以下をご覧くだ さい。 △ 33ページ 本製品のセキュリティーポリシー の設定」 クライアントコンピューターの セキュリティー設定 (アクセス制御を利用するときは不要) ▲ 36ページ 「コンピューターの設定」 セキュアなネットワーク環境へ接続 ※ 設定時の通信を暗号化するには 運用中のセキュアなネットワーク環境に本製品を接続して設定するときは、送信の際に盗聴されるおそれがあります。別のネット ワーク環境に接続して設定ができないときは以下の手順で設定してください。 以下の手順で設定すると暗号化した送信が可能です。

①本製品の操作パネルで[ネットワーク設定] - [IPsec 設定] を [有効] にして、事前共有キーを設定する

②本製品の設定をするコンピューターに IPsec の設定をする

- ⊿す 36 ページ 「コンピューターの設定」
- ③本製品と設定をするコンピューターをネットワークに接続する

本製品のセキュリティーポリシーの設定

コンピューターから本製品に搭載の Remote Manager を起動して、[Setup] タブー [セキュリティー] – [IPsec/ アクセス制御] の各項目を、ご利用の運用方法に合ったセキュリティーポリシーに設定します。Remote Manager の 起動方法は、以下をご覧ください。

🕝 19ページ [EpsonNet Config (Web)、Remote Manager の使い方」

を考
セキュリティー通信(IPsec/アクセス制御)で本製品を使用するときは、本製品を固定の IP アドレスで使用することをお勧めします。 IP アドレスが変更になると設定が無効になります。

設定例1の場合

Remote Manager で [Setup] タブー [セキュリティー] – [IPsec/アクセス制御] – [基本ポリシー] を以下の設定にしてください。

設定項目	設定値
IPsec/ アクセス制御	有効
[デフォルトポリシー]-[通信処理]	IPsec の使用
事前共有キー	半角英数 127 文字以内で設定

設定例2の場合

Remote Manager で [Setup] タブー [セキュリティー] – [IPsec/アクセス制御] – [個別ポリシー] でそれぞれ のクライアントに合った設定をします。

その他のクライアントからの通信を遮断するための設定

Remote Manager で [Setup] タブー [セキュリティー] – [IPsec/アクセス制御] – [基本ポリシー] を以下の設定してください。

設定項目	設定値
IPsec/ アクセス制御	有効
[デフォルトポリシー]-[通信処理]	通信を遮断

印刷用の設定

[IPsec/アクセス制御] - [個別ポリシー] で、[サービス名] を [RAW (Port9100)]、[ENPC] *¹、[SNMP] に した設定が個別に必要です。[個別ポリシー] は「個別ポリシー 1」から優先的に適用されます。以下は設定例です。

	設定値		
設定項目	RAW(Port9100)の設定	ENPC の設定	SNMP の設定
個別ポリシー N (N: 1 ~ 10)	使用する		
通信処理	通信を通過		
リモートアドレス (ホスト) * ²	印刷用クライアントの IP アドレスを設定(プレフィックス長による範囲指定が可能) 例(IP v 4):192.168.0.0/24		
ポート指定方法	サービス名指定		
サービス名	RAW(Port9100)	ENPC	SNMP

* 1 エプソンのプリンタードライバー、スキャナードライバー、EpsonNet Config などのアプリケーションソフトからプリンターの探索をする、エプソン独自のプロトコルです。

* 2 固定 IP アドレスで利用することをお勧めします。DHCP または自動取得(IPv6)のときに、リース切れや有効期限で通信でき なくなることがあります。

(参考) [ポート指定方法] で [ポート番号指定] を選択して、[ローカルポート] を指定したいときは、[プロトコル] で [TCP] または [UDP] を選択してください。

設定例3の場合

Remote Manager で [Setup] タブー [セキュリティー] – [IPsec/ アクセス制御] – [個別ポリシー] でそれぞれ のクライアントに合った設定をします。

その他のクライアントからの通信を遮断するための設定

Remote Manager で [Setup] タブー [セキュリティー] – [IPsec/アクセス制御] – [基本ポリシー] を以下の設定にしてください。

設定項目	設定値
IPsec/ アクセス制御	有効
[デフォルトポリシー]-[通信処理]	通信を遮断

管理者用の設定

[IPsec/ アクセス制御] - [個別ポリシー] で個別に設定が必要です。[個別ポリシー] は「個別ポリシー 1」から 優先的に適用されます。

設定項目	設定値
個別ポリシー N (N: 1 ~ 10)	使用する
通信処理	通信を通過
リモートアドレス (ホスト) *	管理者用クライアントの IP アドレスを設定

* 固定 IP アドレスで利用することをお勧めします。DHCP または自動取得(IPv6)のときに、リース切れや有効期限で通信できな くなることがあります。

印刷用の設定

[Setup] タブー [セキュリティー] - [IPsec/アクセス制御] - [個別ポリシー] に管理者用とは異なる設定で、[サービス名] を [RAW (Port9100)]、[ENPC] *¹、[SNMP] にした設定が個別に必要です。[個別ポリシー] は「個別ポリシー1」から優先的に適用されます。管理者用と併用するときは、印刷用を管理者用の後の個別ポリシーで入力してください。以下は設定例です。

	設定値		
設定項目	RAW(Port9100)の設定	ENPC の設定	SNMP の設定
個別ポリシー N (N: 1 ~ 10)	使用する		
通信処理	通信を通過		
リモートアドレス (ホスト) * ²	印刷用クライアントの IP アドレスを設定(プレフィックス長による範囲指定が可能) 例(IP v 4):192.168.0.0/24		
ポート指定方法	サービス名指定		
サービス名	RAW(Port9100)	ENPC	SNMP

* 1 エプソンのプリンタードライバー、スキャナードライバー、EpsonNet Config などのアプリケーションソフトからプリンターの探索をする、エプソン独自のプロトコルです。

* 2 固定 IP アドレスで利用することをお勧めします。DHCP または自動取得(IPv6)のときに、リース切れや有効期限で通信でき なくなることがあります。



● [ポート指定方法] で [ポート番号指定] を選択して、[ローカルポート] を指定したいときは、[プロトコル] で [TCP] または [UDP] を選択してください。

コンピューターの設定

IPsec 通信をするクライアントにセキュリティー設定が必要です。ここではその手順を説明します。



2

3

[スタート] メニューから [コントロールパネル] - [システムとセキュリティ] - [管理ツール] の順に クリックします。

Windows Vista:

[スタート] - [コントロールパネル] - [システムとメンテナンス] - [管理ツール] の順にクリック

[[セキュリティが強化された Windows ファイアウォール]をダブルクリックします。

[接続セキュリティの規則]をクリックします。

🔐 セキュリティが強化された Wind	ows ファイアウォール
ファイル(E) 操作(A) 表示(⊻)	ヘルプ(圧)
(= -) 🖬 🖬 🖬	
🔗 ローカル コンピューター のセ	ローカル コンピューター のセキュリティが強化された Windows ファイアウォール
 ■ 受信の規則 ■ 送信の時間 ■ 接続をキュリティの規則 ■ 100 	またまコリティが発化された Windows ファイアウォールは、Windows エンピューターにネットワーク セキュリティを提供し す。
	 ドメイン プロファイル ※ Wedows ファイアウォールは刺動です。 ③ 規奏に一般しよい受信接続はブロックを作成す。 ④ 規奏に一般しよい受信接触は14-15(1)ます。 ④ 規奏に一般しよい受信接触は14-15(1)ます。
	ゴライバート ブロファイル



[新しい規則...]をクリックします。

-JL	
D規則	200
有効 エンドポイント1 エンドポイント:	2 認証モード 場時やエュリティの時間
このビューに表示する項目はありません。	18日 新しい規則
	Y JUJ74//CJ4//9-
	▼ 状態でフィルター ▶
	マンボー マンジャン マンジャン・
	→ 一覧のエクスポート
	-

5

[カスタム]を選択して [次へ] をクリックします。



6 各エンドポイントに本製品とクライアントの IP ア ドレスを設定します。 本製品 (プリンター): [これらの IP アドレス] を選択し、

本装品 (フラフラー): [C11500 IF アドレス] を選んし、 [追加] で本製品の IP アドレスを指定して [OK] をク リック クライアント: [任意の IP アドレス] を選択

🔐 新規の接続セキュリティ(D規則ウィザード	
エンドボイント IPsec を使用してセキュリティでは	「読された陽純を確立するエンピューラーを指定してください。	
ステップ: a 現意いの確認 a アンドボイント a 要件 a 夏田市 b アロトコルおよびボート a フロトコルおよびボート a 名前	したがくシトトとコンドボイント 2 のコンピューター欄でセキュリライで伴継された接続を行めたしてく 及し、	
	この規制を通用するインターフェイスの検知のカンタマイズ カンカマイズ() ● 任意の 97 アドレス(2) ○ 44550 97 アドレス(2) ○ 44550 97 アドレス(2) ○ 44550 97 アドレス(2)	
		-



🔐 新規の接続セキュリティの	規則ウィザード	
要件 この規則に一致する接続の認証の	要件を指定してください。	
入方9方 ● 規制の経過 ● 江戸市ポント ● 題 ● ゴビボガ法 ● ブロンコはよびボート ● ブロンフィル ● 名前	とのような条件で2022を実行しますか? ・、定律機械をごぼ律機械にプリして2022を実まする(A) 、可能力場合は2023を見行しますが、2023にそら得て位かりません。 ・ ・ の信機構成の2023にそう場合し、送信機械にプリー(2023を要まする(B) 、ご!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!	Ŀ

8 [詳細設定]を選択して [カスタマイズ] をクリッ クします。

🔐 新規の接続セキュリテ	ィの規則ウィザード	
認証方法 規則に一致する根拠に対して	行なり認証方法を指定してください。	
ステッナ ● 現地の経営部 ● アレドポイント ● 原持 ● 見経方法 ● プロシルみよびボート ● プロシルカよびボート ● プロシルカよびボート ● プロシーバル	との記録さまた他時川にますか?	ße



Remote Manager の[Setup]タブ-[セキュリティー] - [IPsec/ アクセス制御] - [基本ポリシー] - [デ フォルトポリシー] - [事前共有キー] に設定したキー を登録します。

1 番目の認証に使用する資格情報 コンピューター (Kerberos V5)(K) コンピューター (NTLMv2)(N) レアの証明根期(CA) 発行の: アタフェーリン(シ)	始を選択してください: コンピューター証明月書(C):	
著名アルゴリズムS: RSA(既定) → 証明書ストアの種類(E) ルートCA(既定) →		
□ 正常性証明書のみを受け. □ アカウントのマッピングで証明	「参知(日)… 入れる(日) 目書を有効にする(A)	
● 事前共有キー (確認されません)(P): ***** 事前共有キー2回200セキュリティのレベルは他の認証方法に比べて 低いです。事前共有キー(27レー)でよりで格徴だれます。事前共 有キー2回20世代世界であました。2 番目の認証は使用できません。		
1 番目の2020方法の詳細を表示します のK キャンセル		

10 [1 番目の認証方法] に登録した情報が表示された ことを確認して [OK] をクリックします。

Paeo ネゴシェーション・中に使用する認知症方法を指定します。一覧 カ上位にあるものから先に試行されます。	IPGeo ネゴシェーション中に使用するユーザー認識方法または正常 性証明書を描定します。一覧の上位にあるものから先に試行されま す。
1 番目の1221ほ方法(E):	2 番目の認証方法(5):
事約共有¥- *****	方法 通加储福 A
iSD0(A)- 編集(E)- 用時(E) 1番目の2014オオジャンンである(T)	
	1番目の認証方法の一覧に事前共有キーがある場合は、2番目の認証方法を指定することはできません。

[認証方法] 画面に戻ったら [次へ] をクリックし ます。

🔐 新規の接続セキュリティの	D規則ウィザード	
認証方法 規則に一致する接続に対して行た	と見る話を注してください。	
入方す方 2 反応的信題 1 ことドボイント 2 同様 2 目記を方法 2 プロンロはよびボート 2 プロンマイル 2 名前	2023年大法も使用しますか? プロの かって 防空 作業に 人と注意大法を使用します。 プレクト・シューダー (Accherons VSIC) パイスを参加して シューブー たつえ ビューク・のたらが発明: 一直注意を開閉します。 気 正正 法 がかて 防空 で サージ アレニューターのたらが発明: 一直注意を開閉します。 気 正正 法 がかく しゃうか し パーション - からの お思い 二 法 主 法 正 理想ので 15 がっか こ か - かっか - の - からの お思い 二 法 主 法 正 理想ので 15 がっか こ か - かっか - の - からの お思い 活きを解釈します。 気 正 上 正 理想ので 15 かっか し の 1 香 目 と 2 香 目 の 422 証券 定 作業 で よ オ 、 カングマイズ COLO 1000 - 1 香 目 と 2 香 目 の 422 証券 定 作業 で よ カングマイズ COLO	

12 [プロトコルの種類] が [任意] になっていること を確認して [次へ] をクリックします。

> Windows Vista: 手順 🛚 に進む

13

計断規の接続セキュリティの プロトコルおよびポート この規則を適用するプロトコルとポ	2項則ウィザード −トを指定してください。	×
ステップ:	この時間の後週田は入まートレーブロレコルを浸むり、こください。	
 現現した建築 すいたませいよ 		
 要件 	ALL DROLLING THE	
 ■ 認証方法 ■ プロトコルおよびポート 	エンドボイント 1 のボード(1) オペズのボート -	
	6HE 00. 445. 5000-5010	
 名前 	エンドボイント 2 のボード(2)、「すべてのボート ー	
	06 00, 445, 5000-5010	
	フロトコルレポートの詳細を表示します	
	〈算3(四) / (10) /	キャンセル

適用範囲を選択して[次へ]をクリックします。

🔐 新規の接続セキュリティの	D規則ウィザード	
プロファイル この規模的防衛用されるプロファイル	を指定してください。	
ステッス 4 規想の想望 コンドボイント 第件 第月 2125万法 ゴロトコのおどがホート ブロンイル ブロンデル 20574	この焼きないっ適用しますか?	A DE LE
	〈 戻(10) / (10) / (10)	01

14 [名前]を入力して [完了] をクリックします。

🔐 新規の接続セキュリティの	現別ウィザード	
名前 この規則の名前と説明を指定して	花花1	
 スラッス a 規則の設計 コンドボイント 第64 2日記方法 プロトコのは以ポート プロフィル 名前 	条約(()) 1900:逝言 1801 (本場中7)(() (戻以() 東穴(f) 本ッンセル)

設定や使用時のトラブル

事前共有キーを忘れてしまった



Remote Manager で確認するか、キーを設定し直します

Remote Manager の [Setup] タブー [セキュリティー] – [IPsec/アクセス制御] の [基本ポリシー] – [デフォ ルトポリシー] – [事前共有キー] または [個別ポリシー] – [個別ポリシー N (N: 1 ~ 10)] – [事前共有キー] で 設定した内容を確認できます。本製品にパスワードを設定していたときは、パスワードの入力が必要になります。 本製品のパスワードを忘れたときは、エプソンサービスコールセンターにご相談ください。 *G* [ユーザーズガイド] – 「お問い合わせ先」

IPsec 通信ができない



コンピューターの設定で本製品がサポートしていない整合性アルゴリズム、暗号化アルゴリズム、キー互換 アルゴリズムを指定していませんか?

本製品がサポートするセキュリティーメソッドは以下です。

セキュリティーメソッド	項目
整合性アルゴリズム	SHA-256 SHA-1 MD5
暗号化アルゴリズム	AES-CBC 256 AES-CBC 192 AES-CBC 128 3DES DES
キー交換アルゴリズム	Elliptic Curve Diffie-Hellman P-384 Elliptic Curve Diffie-Hellman P-256 Diffie-Hellman Group14 Diffie-Hellman Group2 Diffie-Hellman Group1

コンピューターの [セキュリティ メソッド] の設定で、上記の組み合わせ以外は設定しないでください。 通常はコンピューターの [IPsec の設定] を既定から変更する必要はありません。

突然通信ができなくなった



本製品の IP アドレスが変更または使用不可になっていませんか?

Remote Manager の [Setup] タブー [セキュリティー] – [IPsec/ アクセス制御] – [個別ポリシー] – [個別 ポリシー N (N: 1 ~ 10)] の [ローカルアドレス (プリンター)] に設定した IP アドレスが、DHCP のリース切れや再 起動、IPv6 アドレスの有効期限切れや再取得失敗により、見つからない可能性があります。 固定の IP アドレスを使用してください。



コンピューターの IP アドレスが変更または使用不可になっていませんか?

Remote Manager の [Setup] タブー [セキュリティー] – [IPsec/ アクセス制御] – [個別ポリシー] – [個別 ポリシー N (N: 1 ~ 10)] の [リモートアドレス (ホスト)] に設定した IP アドレスが、DHCP のリース切れや再起 動、IPv6 アドレスの有効期限切れや再取得失敗により、見つからない可能性があります。 固定の IP アドレスを使用してください。



本製品の操作パネルで、[ネットワーク設定] – [Pre-Shared Key 設定] が空白のまま(キー設定していない)になっていませんか?

本製品の操作パネルで、[ネットワーク設定]-[IPsec 設定]を有効にした状態で、[Pre-Shared Key 設定]を空白のまま(キー設定していない)にすると、ネットワーク通信が遮断されます。[IPsec 設定]を有効にしたら、必ず[Pre-Shared Key 設定]でキー設定をしてください。

EpsonNet Config(Windows)(Mac OS)で本製品が検索できない



Remote Manager の [Setup] タブー [セキュリティー] の [IPsec/アクセス制御] を [有効] にして いませんか?

[IPsec/ アクセス制御] を [有効] にしたときは、個別ポリシーとして [サービス名] - [ENPC] と [サービス名] - [SNMP] をそれぞれ作成しないと、EpsonNet Config (Windows) (Mac OS) と通信ができません。個別ポリ シーをそれぞれ作成してください。

∠ 33ページ「本製品のセキュリティーポリシーの設定」

セキュリティー通信(SSL)

本製品をネットワークに接続して使用する際に、外部からの不正アクセスや、データが読み取られたりするなどの行為を 防止できる機能です。

SSL 通信を設定することで、以下の機能が安全に使用できるようになります。

• ブラウザーによる製品の設定や管理

ただし、一部のプリンターには対応していません。本製品が SSL 通信に対応しているかは、プリンターのマニュアルで 確認してください。

ここでは、SSL 通信の設定方法や、利用方法、トラブルシューティングなどを説明します。

必要な設定

SSL 通信を利用するには、電子証明書が必要です。本製品は、購入時から電子証明書(自己署名証明書)を内蔵しており、設定のために接続するときも SSL 通信(https でのアクセス)が可能です。



ブラウザーによる本製品の設定や管理

本製品の設定や管理を安全に行うためには、Remote Manager で以下の設定が必要です。

- サーバー証明書のインポート
- ▲ 45ページ 「電子証明書」
- サーバー証明書の選択 (自己署名証明書 または CA 署名証明書)
- 暗号化強度の設定 (High/Mediumの選択)
- SSL リダイレクト機能の設定

!重要 SSL 通信に関する設定を保護するために、ネットワークインターフェイスにパスワードを設定してください。パスワードを設定しないと、外部から不正にアクセスされたり、SSL 通信に関する設定を改ざんされたりするなどの危険性があります。

設定方法

Remote Manager を使って設定します。Remote Manager へのアクセス方法は以下の通りです。

書式) https:// ネットワークインターフェイスの IP アドレス / または

https:// ネットワークインターフェイスのホスト名. ドメイン名 /

例:IPv4) https://192.168.100.201/

例: IPv6 手動設定アドレス) https://[2001:db7::1000:1]/

サーバー証明書の選択

サーバー証明書は、自己署名証明書か CA 署名証明書のいずれかを選択します。



リストから[自己署名証明書]か[CA 署名証明書(1-3)]のいずれかを選択します。

● CA 署名証明書がインポートされていない状態で、[CA 署名証明書(1-3)]を選択すると、エラーになります。

3 [送信]をクリックして、[ネットワークの再起動]をクリックします。

以上で終了です。

2

暗号化強度を設定

この設定は省略可能です。

1 Remote Manager で [Setup] タブー [セキュリティー] メニューの [SSL/TLS] 画面を開きます。

2 暗号化強度を選択します。

購入時の設定は [Medium] です。

[送信]をクリックして、[ネットワークの再起動]をクリックします。

 ・「重要
 ・ 暗号化強度を [High] に設定すると、OS やブラウザーの種類やバージョン、サービスパックなどにより、Remote Manager が開けなくなることがあります。
 OS やブラウザーはできるだけ最新のバージョン、サービスパックを導入することをお勧めします。
 OS やブラウザーのバージョンアップが不可能なときは、暗号化強度を [Medium] に設定すると解決することがあります。
 ます。

以上で終了です。

SSL リダイレクト機能の設定

この設定は省略可能です。

SSL リダイレクト機能を ON にすると、ユーザーが Remote Manager を利用する時に、アクセス方法を意識することなく常に SSL 通信でアクセスします。

OFFにすると、ユーザーがブラウザーのURLアドレスに入力したアクセス方法でRemote Managerにアクセスします。

SSL リダイレクト設定	http:// ****** と入力した場合	https:// ****** と入力した場合	
ON([使用する]を選択)	自動的に https アクセスに変更	https デアクセフ	
OFF ([使用しない] を選択)	http でアクセス	nttps CF D EX	

Remote Manager で [Setup] タブー [セキュリティー] メニューの [SSL/TLS] 画面を開きます。

| [HTTP を HTTPS への自動リダイレクト]で[使用する]を選択します。

[送信] をクリックして、[ネットワークの再起動] をクリックします。

以上で終了です。

設定や使用時のトラブル

Remote Manager にアクセスできない



1

2

3

Remote Manager で [Setup] タブー [セキュリティー] メニューの、[SSL/TLS] 画面の暗号化強度の設定を [High (3DES-168,AES-256)] に設定していませんか?

使用しているブラウザーが SSL 256 ビットに対応していない古いバージョンだとアクセスできません。

- SSL 256 ビット対応のブラウザーをご利用ください。
- 暗号化強度を [Medium] に変更してください。

Remote Manager にアクセスすると警告が表示される

エラーメッセージ*	原因	対処
この証明書は、信頼する会社から発行され ていません。・・・・(以下省略)	自己署名証明書を使用しています。	そのままでも問題ありませんが、警告表 示を消すためには、認証機関(CA 局)か ら CA 署名証明書を取得してください。
	使用する CA 署名証明書を検証する CA 証明書がコンピューターにインポートさ れていません。	使用する CA 署名証明書を検証する CA 証明書をコンピューターにインポートし てください。
	使用する CA 証明書が中間 CA であり、 ルート CA までのチェーンをたどること ができません。	ルート認証局の CA 証明書をコンピュー ターにインポートしてください。
有効期限が切れている	本製品もしくはお使いのコンピューター の日付、時刻、時差の設定が正しくあり ません。	本製品およびお使いのコンピューターの [日付時刻設定] を正しく設定してくださ い。
	有効期限が切れています。	証明書を取得し直してください。
 別の Web サイトのアドレス用に発行されたものです。 この証明書は・・・にだけ有効なものです。 ホスト名が一致しません 	自己署名証明書もしくは CSR 作成時に 入力した [コモンネーム] 情報とブラウ ザーに入力した URL が一致しません。	証明書の [コモンネーム] 情報と同一の 内容をブラウザーの URL に入力してく ださい。

* お使いのブラウザーによりメッセージは異なります。

電子証明書

IEEE802.1X 認証、IPsec 通信、SSL 通信を行うためには、電子証明書が必要です。 ここでは、Remote Manager を使った電子証明書の管理方法について説明します。

- 自己署名証明書の作成 · 更新
- CA 署名証明書の入手(CSR の作成)
- 証明書のインポート
- 証明書のバックアップ
- 証明書の復元
- 証明書の削除

自己署名証明書の作成・更新

自己署名証明書とは

本製品が自ら発行した証明書です。認証機関(CA 局)が発行していないため、信頼性はありません。 本製品は、購入時から自己署名証明書を内蔵しており、SSL 通信の際に使用できます。

- 新規に電子証明書を取得することなく、SSL 通信によるデータの暗号化ができます。
- Remote Manager を使用して、証明書の作成、更新ができます。
- CA 局が発行した信頼された証明書ではないため、次の制約があります。
 - -「なりすまし」は防げません。
 - SSL 通信で使用する場合、セキュリティー警告画面が表示されることがあります。
 - インターネット上では安全が確保されないため、使用しないでください。

自己署名証明書の作成・更新方法

自己署名証明書の作成、更新手順は以下の通りです。

 1
 Remote Manager で [Setup] タブー [セキュリティー] メニューの [証明書管理] ー [証明書一覧] ー

 [作成] 画面を開きます。

2

4

[コモンネーム]を入力します。(必須)

本製品にアクセスする際に用いる IP アドレス、FQDN 名などの識別子を入力します。

(参考) [コモンネーム]の入力は、カンマ文字で、以下のようにディスティングイッシュネーム(CN)を複数に分割できます。
 例)コモンネームの入力:192.168.192.1,SBC01.epson.net
 作成されるコモンネーム情報: CN=192.168.19.1, CN=SBC01.epson.net

3 証明書の有効期間を選択します。

[作成] をクリックして、[ネットワークの再起動] をクリックします。

CA署名証明書の入手(CSRの作成)

CA 署名証明書とは

認証機関(CA 局)が発行した証明書です。CA 局で審査を受けて有料で発行してもらうことができます。 本製品で CSR(証明書発行要求)を作成し、CA 局に送付して CA 署名証明書を入手します。SSL 通信、IPsec 通信、 および IEEE802.1X 認証で使用できます。

- 取得した証明書を本製品にインポートして使用できます。
- SSL 通信で使用する場合、セキュリティー警告画面が表示されません。また、インターネット上で使用しても安全が 確保されます。
- 以下の CA 局の証明書が使用できます。
 - 日本ベリサイン
 - グローバルサイン
 - セコムトラストシステムズ
 - Microsoft 証明書サービス(Windows Server 2003 に付属のツール)
 - Active Directory 証明書サービス (Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2012)

上重要 CA 署名証明書を再発行しない CA 局があります。 CA 署名証明書をインポートした後は、必ず証明書と秘密鍵をペアで バックアップしておいてください。

CSR(証明書発行要求)の作成方法

CA 署名証明書入手に必要な CSR(証明書発行要求)の作成方法を説明します。

! 重要 CSR は作成するごとにペアとなる秘密鍵情報が生成されます。すでに作成済みの [CSR 番号] を選択して作成すると、 秘密鍵情報は上書きされますのでご注意ください。

Remote Manager で [Setup] タブー [セキュリティー] メニューの [証明書管理] – [CSR] – [作 成] を選択します。



3

4

1

[公開鍵長] を選択します。

[コモンネーム]を入力します。(必須)

必要に応じて、[組織名]、[部署名]、[市区町村名]、[都道府県名]、[国名コード]を入力します。

- (参考)・入力可能な文字は、半角英数 64 文字以内です。
 - 国名コードは、ISO3166 で規定される 2 文字の国コードを使用してください。
 - [コモンネーム]、[組織名]、[部署名]、[市区町村名]、[都道府県名]の入力は、カンマ文字でそれぞれの ディスティングイッシュネームを複数に分割できます。
 - 公開鍵長、入力可能な文字や文字数制限などの入力規約については、CA 局の方針に従ってください。

[作成] をクリックします。

作成した CSR は、Remote Manager の [Setup] タブー [セキュリティー] メニューの [証明書管理] – [CSR] で DER 形式、または PEM 形式を選択して保存できます。



送付方法や送付形態は、CA 局の方針に従ってください。

入手した CA 署名証明書は、Remote Manager にアクセスするコンピューターに保存してください。



証明書のインポート

交付された CA 署名証明書や CA 証明書を本製品にインポートします。

本製品に CA 署名証明書をインポートする前に、利用する全てのコンピューターに CA 局が発行する CA (ルート / 中間) 証明書をインポートしておくことをお勧めします。

CA 署名証明書は3通、CA 証明書は10通までインポートすることができます。



Remote Manager で [Setup] タブー [セキュリティー] メニューの [証明書管理] – [インポート] 画 面を開きます。

2 [ファイルタイプ]、[ファイル名]、PCKS#12形式の場合は [パスワード] を入力して、[インポート] を クリックします。

▲製品の日付・時刻設定が正しくないと、証明書のインポートに失敗することがあります。
 本製品の故障や誤操作による証明書の喪失に備えて、証明書をインポートした後は、必ずバックアップ保存しておいてください。
 ▲ 47 ページ「証明書のバックアップ」

以上で終了です。

証明書のバックアップ

本製品にインポートされた証明書をバックアップ保存します。 自己署名証明書はバックアップ保存できません。



Remote Manager で [Setup] タブー [セキュリティー] メニューの [証明書管理] – [バックアップ] 画面を開きます。

2 実行コードを入力して、[実行]をクリックします。

3 ファイルを保存する場所とファイル名を指定します。

以上で終了です。

証明書の復元

本製品の故障や誤操作などによって証明書が喪失した場合は、バックアップ保存した証明書を製品に復元できます。

1 Remote Manager で[Setup]タブー[セキュリティー]メニューの[証明書管理] – [復元] 画面を開きます。

2 バックアップ保存したファイルを選択し、実行コードを入力して、[実行]をクリックします。

! 重要 復元をすると、現在本製品にインポートされている証明書はすべて消去されます。

証明書の削除

本製品にインポートされている証明書を削除します。



Remote Manager で [Setup] タブー [セキュリティー] メニューの [証明書管理] – [証明書一覧] 画 面を開きます。

2

証明書一覧から、削除したい証明書を選択してから[削除]をクリックします。

主要 証明書が [使用中] の場合は削除できません。一旦別の証明書を選択して、削除したい証明書を [未使用] の状態にしてください。



以上で終了です。

設定や使用時のトラブル

証明書がインポートできない



入手した CA 署名証明書と作成した CSR の情報が一致していますか?

- CA 署名証明書と CSR は、同一の情報を有していないとインポートできません。以下の点を確認してください。 • 同時に複数の機器で CSR を作成した場合、一致しない機器に証明書をインポートしようとしていませんか? 情報を確認して、一致する機器にインポートしてください。
- CA 局に CSR を送付した後、本製品に保存されている CSR を上書きしていませんか? CA 署名証明書を再取得してください。



入手した CA 署名証明書のファイル容量が 5KB 以上ありませんか? 5KB を超える CA 署名証明書は、インポートできません。



PKCS#12形式の証明書をインポートする際のパスワードは正しいですか? パスワードを忘れた場合、証明書をインポートできません。

自己署名証明書が作成できない



[コモンネーム] が未入力ではありませんか? [コモンネーム] は必ず入力してください。



[コモンネーム] に入力可能な文字以外(例:日本語)を入力していませんか? 入力可能な文字は半角英数 64 文字以内です。



[コモンネーム] にカンマや空白を使用していませんか? カンマが入力されるとそこで分割されます。

また、カンマの前後に空白のみを入力するとエラーになります。

CSR(証明書発行要求)が作成できない



[コモンネーム] が未入力ではありませんか? [コモンネーム] は必ず入力してください。



[コモンネーム]、[組織名]、[部署名]、[市区町村名]、[都道府県名] に入力可能な文字以外(例:日本語) を入力していませんか?

入力可能な文字は半角英数 64 文字以内です。



[コモンネーム] にカンマや空白を使用していませんか?

カンマが入力されるとそこで分割されます。 また、カンマの前後に空白のみを入力するとエラーになります。

証明書を操作すると警告が表示される

エラーメッセージ	原因	対処
証明書のインストールに失敗しました	最大インポート可能数を超えてインポー トしようとしました。	不要な証明書を削除してください。
	インポートしようとしたファイルが X509形式の証明書ファイルと異なりま す。	X509 形式の証明書ファイルであるか確 認してください。
	インポートしようとした証明書ファイル が 5KB を超えています。	インポート可能な証明書ファイルサイズ は、5KB までです。
	ファイル未選択のままで[インポート] ボタンをクリックしました。	ファイルを選択してから [インポート] ボタンをクリックしてください。
証明書のパスワードが一致しません	PKCS#12 形式の証明書に設定したパ スワードと一致しません。	正しいパスワードを入力してください。
証明書の有効期限が過ぎています	インポートしようとした証明書、または 現在使用中の証明書の有効期限が切れて	有効期限内の証明書ファイルを入手して インポートしてください。
		本製品の日時、時差が正しく設定されて いるか確認してください。
証明書はすでにインストールされています	インポートしようとした証明書がすでに インポートされています。	インポートする証明書を確認してくださ い。
設定の変更に失敗しました	復元しようとしたファイルがバックアッ プファイルではありません。	正しいバックアップファイルを指定して いるか確認してください。

証明書を削除してしまった



証明書をバックアップ保存したファイルがありますか?

証明書をバックアップ保存したファイルがあれば、復元してください。 バックアップ保存したファイルがないときは、証明書を取得した CA 局にお問い合わせください。

付録

EpsonNet ソフトウェアの削除方法

各 OS ごとの削除方法を説明します。

△ 50ページ「Windows 用ソフトウェアを削除する」

△ 51 ページ「Mac OS X 用ソフトウェアを削除する」

Windows 用ソフトウェアを削除する

削除するには、管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。

1 [スタート] メニューから [コントロールパネル] – [プログラムのアンインストール] を開きます。



Windows XP/Windows Server 2003:

6

[スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] の順にクリック

2

削除するソフトウェアを選択して、[アンインストール](または [削除]、[変更と削除])をクリックします。

ファイル(E) 編集(E) 表示(Y)	ツール(I) ヘルプ(日)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
コントロール パネルホーム	プログラムのアンインストールまたは変更	í.
インストールされた更新プロ グラムを表示	プログラムをアンインストールするには、 トール】、(変更)、または(修復)をクリッ	一覧からプログラムを選択して (アンインス クします。
Windowsの機能の有効化また は無効化	整理 - アンインストール	□•
	4 m	B)22
	EpsonNet Config V3	SEIKO EPSON CORPORATION

Windows Vista:

[アンインストール](または[アンインストールと変更])をクリックして、[ユーザーアカウント制御] 画面で[続行] をクリック



この後は、画面の指示に従ってください。

Mac OS X 用ソフトウェアを削除する

削除するには管理者権限を持つユーザーでログオンしてください。 ソフトウェアの削除は「Uninstaller」を使います。 再インストールやバージョンアップをするときは、対象のソフトウェアを削除してから行います。

入手方法

「Uninstaller」を弊社のホームページからダウンロードしてください。 アドレス http://www.epson.jp/

操作手順

「Uninstaller」を入手時に手順も確認いただき、その手順に従ってください。

ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識

プリンターのネットワーク共有に必要なネットワーク環境を IPv4 アドレスで説明します。



①LAN(ラン)ケーブル

市販のLANケーブル(ストレートケーブル)を使用してください。ケーブルの接続の規格は伝送速度によって異なります。 本製品のネットワークインターフェイスには、シールドツイストペアケーブル(カテゴリー5以上)を使用してください。

②ハブ(HUB)

LAN ケーブルを接続するための集線装置です。ネットワーク上のコンピューターやプリンターはハブを介して接続します。

③TCP/IP(ティーシーピーアイピー)

ネットワークの通信にはさまざまな規約があり(これをプロトコルといいます)、TCP/IP はその中の 1 つです。イン ターネット上の通信で使用される、世界的な標準プロトコルです。ネットワーク上のすべてのコンピューターに組み込む 必要があります。

④ IP アドレス(アイピーアドレス)

電話機 1 台につき 1 つの電話番号が必要であるように、コンピューターをネットワーク上で使用するには、コンピュー ター 1 台につき 1 つの識別子(アドレス)が必要です。この識別子のことを IP アドレスといい、電話番号と同様に数字 の羅列(例(IPv4): 192.168.192.168)で表されます。ネットワーク上のすべてのコンピューターやプリンターに IP アドレスを割り振る必要があります。

IP アドレス(IPv4 アドレス)は何番に設定する?

複数のコンピューターで IP アドレスが重複すると、正常に通信できません。そのため、IP アドレスは世界的な機関で集 中管理されています。外部接続(インターネットへの接続、電子メールの送受信など)をするときには、日本ネットワー クインフォメーションセンター: JPNIC(http://www.nic.ad.jp/)に申請して、正式に IP アドレスを取得する必要が あります(通常はインターネットサービスプロバイダー(通称 ISP)が代行します)。

ただし、外部のネットワークに接続しない閉じた環境では、外部との接続を将来的にも一切行わないという条件のもと に、以下の範囲のプライベートアドレスが使用できます。

	10.0.0.1 ~ 10.255.255.254
プライベートアドレス	172.16.0.1 ~ 172.31.255.254
	192.168.0.1 ~ 192.168.255.254

IP アドレスの割り振り方

IP アドレスをネットワーク上のコンピューターに割り振る前に、「サブネットマスク」というものを理解しなければなりません。

電話番号に市外局番があるように、IP アドレスにもエリアを示す仕組みがあります。このエリアは、概念的には会社や 部門などで分け、物理的にはゲートウェイまたはルーター^{*}といわれる中継器で分けます。

* ゲートウェイ・ルーターとは

同一プロトコルを使用した社内ネットワークで、部門間に設置する中継器をルーター、社内ネットワークと外部(インターネット) との間に設置する中継器をゲートウェイと考えてください。なお、ルーターによって分けられるエリアをセグメントといいます。



エリアを示す仕組みに利用されるのが、サブネットマスクです。サブネットマスクは、IP アドレスと同様、数字の羅列 (例 (IPv4): 255.255.255.0) で表されます。

サブネットマスクは、IP アドレスに被せるマスクと考えてください。下表の例では、サブネットマスクの「255」にか かる部分がエリアのアドレス(これをネットワークアドレスといいます)、「0」にかかる部分がエリア内の各機器のアド レスになります。サブネットマスクの詳細な説明は、インターネットなどを参照してください。

<例>IPアドレス(IPv4)が「192.168.100.200」の場合



IPアドレス(IPv4)	あるコンピューターは 192.168.100.200、他のコンピューターには 192.168.100.201、本 製品のネットワークインターフェイスには 192.168.100.202のように、サブネットマスクの「0」 にかかる部分の数値を 1 ~ 254 の間で設定してください。
サブネットマスク	通常は、255.255.255.0 であれば、問題ありません。プリンターを利用するすべてのコンピュー ターで同じ値にしてください。
ゲートウェイ (GW)	ゲートウェイになるサーバーやルーターのアドレスを設定します。ゲートウェイがない場合は、設定の必要はありません。

<例: IPv4 の場合>



プリンターを共有するには

コンピューターにネットワークまたはローカルで直接接続したプリンターを、他のコンピューターから共有して使用する 手順を説明します。

プリンターをネットワークまたはローカルで直接接続したコンピューターをプリントサーバーといい、プリントサーバー に印刷許可を受けるコンピューターをクライアントといいます。



共有設定を始める前に、プリントサーバーからネットワークまたはローカルで直接接続したプリンターへ、印刷ができる ことを確認してください。

プリンターをネットワークで直接接続する場合

⊿ 6ページ 「印刷環境の確認」

プリンターをローカルで直接接続する場合

⊿ プリンターのマニュアル

各 OS の設定方法を確認して、プリントサーバーおよびクライアントを設定してください。

Windows の場合

△ 56 ページ 「ブリントサーバーの設定 (Windows)」
△ 60 ページ 「クライアントの設定 (Windows)」

Mac OS の場合

△ 63ページ「プリントサーバーの設定(Mac OS X)」
△ 64ページ「クライアントの設定(Mac OS X)」

Windows 環境の追加ドライバー機能

プリントサーバーの設定(Windows)

プリントサーバーとして設定する手順と追加ドライバーをプリントサーバーにインストールする手順を併せて説明します。 追加ドライバーの詳細は以下を参照してください。 ☞ 55 ページ「Windows 環境の追加ドライバー機能」

設定を始める前に、管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。

[スタート] メニューから [デバイスとプリンター] を開きます。

Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012: [コントロールパネル] - [デバイスとプリンターの表示] の順にクリック

Windows Vista/Windows Server 2008: [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタ] の順にクリック

Windows XP/Windows Server 2003: [スタート] - [プリンタと FAX] の順にクリック

本製品のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ]をクリックして[共有]タブをクリックし ます。

Windows 7/Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012 以外: 本製品のアイコンを右クリックして、[共有] をクリック

3 [このプリンターを共有する]を選択して、[共有 名]を入力します。

選択できないときは「共有オプションの変更」をクリックすると、選択できるようになります。

!重要

1

2

エラーの原因になるため共有名には□(スペース)や-(ハイフン)を使用しないでください。







続いてクライアントを設定します。

△ 60ページ「クライアントの設定 (Windows)」



5 下表を参照して、クライアントの Windows バージョンにチェックを付け(または選択して)、[OK] をク リックします。

プリントサーバー OS	クライアント OS	選択項目
Windows XP	64bit OS	x64 Windows XP
Windows Server 2003	64bit OS	Itanium Windows XP および Windows Server 2003
Windows Vista/ Windows Server 2008/ Windows 7/ Windows 8/ Windows 8.1/ Windows Server 2012	64bit OS	х64 Туре 3



クライアント用のプリンタードライバーが収録さ れているドライブ名とフォルダー名を選択または 半角文字で入力して、[OK]をクリックします。 入力例)

E:¥Printer¥Driver¥WINX64 (E ドライブにセットしたとき)

参考

6

7

- 「デジタル署名が見つかりませんでした]といったメッセージの画面が表示されることがあります。[はい]または[続行]をクリックして、そのままインストールを進めてください。付属のプリンタードライバーであれば問題なくお使いいただけます。
- 本製品のソフトウェアディスクによっては、各製品の フォルダー名を入力しなければならないことがありま す。ソフトウェアディスクのフォルダーを確認して入 力してください。
- [閉じる]をクリックしてプロパティーを閉じます。

追加ドライバーを削除するには、以下を参照してください。 ☞ 58ページ「追加ドライバーを削除するには」



※ クライアントOSは環境によって メッセージが多少異なります。

追加ドライバーを削除するには

プリントサーバーにクライアント用の追加ドライバーをインストールしたときは、以下の手順で追加ドライバーを削除 (アンインストール)できます。



[スタート] メニューから [デバイスとプリンター] を開きます。

Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012: [コントロールパネル] - [デバイスとプリンターの表示] の順にクリック

Windows Vista/Windows Server 2008: [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタ] の順にクリック

Windows XP/Windows Server 2003: [スタート] - [プリンタと FAX] の順にクリック

3 プリンターを選択して画面上部に表示される[プリ ントサーバープロパティ]をクリックします。

Windows Vista:

2

4

プリンターを何も選択しないでウィンドウ内で右クリッ クー[管理者として実行] – [サーバーのプロパティ] を クリック

Windows Server 2008/Windows XP/ Windows Server 2003: [ファイル] - [サーバーのプロパティ] をクリック



[ドライバー]	タブをクリックします。	

コプリント サーバーのフ 用紙 ポー	ロパティ キュリティ 詳細	設定	
PC			
インストールされたプリンタ- 名前	- ドライバー(<u>P</u>): プロセッサ	種類	*
EPSON LP-XXXX	x64 x86	Туре 3 - ユーザー モード Туре 3 - ユーザー モード	
追加(<u>D</u>)	削除(<u>R</u>) 変更(<u>G</u>)	プロパティ(<u>E</u>)	•
● ドライバー設定の	変更(<u>G)</u> OK	キャンセル 道道	用(A)



I	コパティ		
用紙 ポート ドライハー	セキュリティ 詳細	設定	
ill pc			
PC			
インストールされたプリンター	ドライバー(Ⴒ):		
名前	プロセッサ	種類	_^
EPSON LP-XXXXX	x64	Type 3 - ユーザー モード	
EPSON LP-XXXXX	x86	Type 3 - ユーザー モード	
			н
			E
			E
			E
() () () () () () () () () () () () () (8/19/01	Thuis de	
<u>這加(D)</u>	削除(<u>R</u>)		



プリン	ト サーバー プロパティ	— ×
▲	このブリンター ドライバーを削除すると、 から削除されます。EPSON LP- XXXX を削 か?	システム 除します
	(\$\$\(Y)	, ¹ え(<u>N</u>)

[閉じる]をクリックしてプロパティーを閉じます。

削除を確認するメッセージが表示されたら、[はい]

[ドライバーとパッケージの削除] 画面が表示され

たら、どちらかを選択して[OK]をクリックします。

プリント サーバーのプロ	パティ		-
用紙 ポート ドライバー	セキュリティ 詳細	設定	
名前	プロセッサ	種類	*
EPSON LP-XXXXX	x86	Type 3 - ユーザー モード	
			н
	10000		~
ы≌ли(<u>D</u>)	<u>削除(R</u>).		
	閉じる	キャンセル 道	i用(<u>A</u>)

以上で終了です。

6

7

8

をクリックします。

クライアントの設定(Windows)

ここでは、[プリンタ] / [プリンタと FAX] / [デバイスとプリンター] フォルダーから、プリントサーバーの共有プリ ンターに接続してプリンタードライバーをインストール(コピー)する手順を説明します。

Windows デスクトップ上の [ネットワークコンピュータ] や [マイネットワーク] から、共有プリンターへ接続してプリンタードライバーをインストールすることもできます。最初の接続方法が異なるだけで、基本的な設定方法はここでの説明と同じです。

! 重要 Windows Server 2003、Windows Server 2008、Windows Server 2012 はサーバー OS のため、クライアン トとしての設定はしないでください。

プリントサーバーの設定が終了している場合は、以下の各クライアント OS の設定に進みます。 *A* 61 ページ [Windows XP/Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1]

プリントサーバーの設定が終了していない場合は、プリントサーバーを設定してください。 ☞ 56ページ「プリントサーバーの設定(Windows)」

プリントサーバーに追加ドライバー機能でプリンタードライバーをインストールしたときは、クライアント設定時に本製品のソフトウェアディスクを使用せずに設定できます。 ☞ 55 ページ 「Windows 環境の追加ドライバー機能」

Windows XP/Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1

Windows が稼働するコンピューターをクライアントとして設定する手順を説明します。 設定を始める前に、管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。

[スタート] メニューから [デバイスとプリンター] を開きます。

Windows 8/Windows 8.1:

[コントロールパネル] - [デバイスとプリンターの表示] の順にクリック

Windows Vista:

1

2

4

[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタ] の順にクリック

Windows XP: [スタート] - [プリンタと FAX] の順にクリック

[プリンターの追加] をクリックします。

Windows Vista: [プリンタのインストール] をクリック

Windows XP:

[プリンタのインストール] - [次へ] の順にクリック

3 [ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリ ンターを追加します] をクリックします。

Windows 8/Windows 8.1:

[探しているプリンターはこの一覧にはありません] をク リック 手順 5 に進む

Windows XP:

[ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ]を選択して [次へ]をクリック

[停止] - [探しているプリンターはこの一覧には ありません] をクリックします。

Windows XP: 手順 5 に進む



D	■ プリンターの通知
	インストールするプリンターの種類の道沢
	◆ ローカル ブリンターを追加します(L) USB ブリンターがない場合のみこのオブションを使用してください (USB ブリンターはブラグ インされたときに自動的にインストールされます)。
	◆ キットワーク、フィヤレスまたは Hivehooth ブリンクーを追加しばす(立) コンピューターがネットワークに提続されているか、または Bivehooth ブリンターがフイヤレ スプリンターがオンになっていることを確認してください。
	(次へば) キャンセル

プルンター名	792	
_		傳止(S)

and the

●照(<u>B</u>)…



🕝 🖮 プリンターの適加

ンターを参照する(<u>W</u>)

■ 共有プリンターを名前で温沢する(S)

プリンター名または TCP/IP アドレスでプリンターを検索

例: ¥¥<コンピューター名>¥<プリンター名> または http://<コンピューター名>/printers/<プリンター名>

TCP/IP アドレスまたはホスト名を使ってプリンターを追加する(I)

書式) ¥¥プリントサーバー名¥共有プリンター名 Windows XP: [指定したプリンタに接続する] を選択して [次へ] をク リック。 ネットワーク上のプリンター接続先がわかっているとき は、入力欄に上記書式で直接入力(半角文字)。 共有プリンターを設定したプリントサーバーをダ 6 ブルクリックまたはクリックし、共有プリンターの 名前をクリックして [選択] (または [次へ]) をク リックします。 (参考)

- プリントサーバーで共有プリンターを設定したとき に、プリンターの名称を変更していることがあります。 ご利用のネットワークの管理者に確認してください。
- すでに該当製品のプリンタードライバーがインストー ルされているときは、既存のプリンタードライバーを 使用するか、新しいプリンタードライバーを使用する か選択してください。選択を促すダイアログが表示さ れたら、メッセージに従って選択してください。
- Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1 の標準ユーザーで設定していたときは、[ユーザー アカウント制御] 画面が表示されます。管理者アカウ ントのパスワードを入力してください。

画面の指示に従って設定を終了します。 7

以上で終了です。

[共有プリンターを名前で選択する]を選択して[次 5 へ]をクリックします。

ネットワーク上のプリンター接続先がわかっているとき は、入力欄に以下の書式で直接入力(半角文字)できます。

プリントサーバーの設定(Mac OS X)

Mac OS X が稼働するコンピューターをプリントサーバーとして設定する手順を説明します。



プリンターの電源を入れます。

アップルメニュー-[システム環境設定]を開き [共有]をクリックします。



3 [プリンタ共有] にチェックを付けて、[プリンタ] で共有するプリンターにチェックを付けます。

コンピュータ名: XXXXX			
ローカル アクセス	ネットワーク上のコンピュータか できます:XXXXX.local	ら、次のアドレスでこの ^二	シビュータに 編集
 入 リーピス DVD または CD 共有 通知社内 	 プリンタ共有:入 プリンタ共有により、ネッ 	トワークのほかのユーザが	、このコンピュータに機制
D MARKH	れたプリンタを使用できる。	*ブリントとスキ	マン"環境投会を開く
✓ プリンク共有	long roman		
ATT/RN	11157/01	ユーザ:	
Web 共有	🗹 👺 LP-XXXXX	謎 全員	プリント可能
リモートログイン			
Varid ##			
- インターネット共有			
Bluetooth 共有			
		+ -	

4 [システム環境設定] – [システム環境設定を終了]をクリックします。

クライアントの設定(Mac OS X)

ネットワーク上の共有プリンターは、各ユーザーの[プリンタ設定ユーティリティ]/[プリントとファクス](または [プリントとスキャン])に自動的に追加されます。通常の方法でアプリケーションソフトの[ページ設定]画面や[プリ ント]画面を設定して印刷してください。



_____ PING コマンドによる通信確認方法

TCP/IP ネットワーク環境で、コンピューターに設定された IPv4 アドレスと本製品に設定した IPv4 アドレスを確認し てから、コンピューターと本製品の通信ができているか確認します。 2 65ページ [Windows で確認する] 2 67ページ [Mac OS X で確認する]

Windows で確認する

1

[スタート] メニューから [すべてのプログラム](または [プログラム])- [アクセサリ] - [コマンド プロンプト] を開きます。

Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012: 画面の左下端で右クリック - [コマンド プロンプト] をクリック



キーボードから [ipconfig] と入力して、[Enter] キーで実行します。 ma コマンド プロンプト Microsoft Windows (Version 6.1.7600) Copyright (c) 2008 Microsoft Corporation. All rights reserved. C:YUsersYTer Dipconfig



IP アドレスを確認します。 「イーサネット アダプター ローカル エリア接続」の 「IPv4 アドレス」を確認します。



4 本製品の IP アドレスを確認します。

IP アドレスはネットワークステータスシートで確認できます。 *Δ* プリンターのマニュアル



国 コマンド プロンプト	
Microsoft Windows [Version 6.1.7600] Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation.	All rights reserved.
C:¥Users¥Te: ≻ping 192.168.192.168	

通信しているときは、図 1 のように [〜からの応答:バイト数・・・] が表示されます。通信していないと きは図 2 のように [〜からの応答:宛先ホストに到達できません。] が表示されます。通信していないとき は、各機器のネットワーク設定を確認してください。

コマンド プロンプト		
Microsoft Windows [Version 6.1.7600] Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved. C:¥Users¥Test>ping 192.168.192.168		
192.168.192.168 からの応答: バイト数 -32 時間 <1ms TL=64 192.168.192.168 からの応答: バイト数 -32 時間 <1ms TL=64 192.168.192.168 からの応答: バイト数 -32 時間 <1ms TL=64 192.168.192.168 からの応答: バイト数 :32 時間 <1ms TL=64		

Į	図 2
	BE コマンド プロンプト Microsoft Windows [Version 6.1,7600] Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved. C:VUsersVTest>ping 192.168.192.168
	192,168,192,167 からの応答: 宛先ホストに到達できません。 182,168,192,167 からの応答: 宛先ホストに到達できません。 192,168,192,167 からの応答: 宛先ホストに到達できません。 192,168,192,167 からの応答: 宛先ホストに到達できません。

以上で PING コマンドによる通信確認方法は終了です。

Mac OS X で確認する

1 アップルメニューー [システム環境設定] の順にクリックします。

- 2 [ネットワーク] をクリックして、[ネットワーク環 境:]で[自動]が選択されていることを確認します。
- Othernet
 状況: 接続済み

 ・ W-Fi

 ・ (アンドレス 192.168.10.1 が没
 文されています。

ネットワーク

000

000

▲ ▶ オペてを表示

e fibenet (in)

e Bluetooth PAN

e Wi-Fi

ネットワーク環境: 自動

0

▲ ▶ すべてを表示

ネットワーク環境: 自動



画面左側の項目からお使いのネットワーク (Ethernet など)を選択します。



ネットワーク

状況: 接続済み

IPv4 の構成: 手入力 IP アドレス: 192.168.10.1 :

Ethernet は現在使用中で、IP アドレス 192-168-10-1 が設 定されています。

4 [IPv4 の構成] (または [構成]) からネットワーク 環境に合わせた項目を選択します。 DHCPサーバーを使用している場合は [DHCPサーバを 使用](または [DHCPサーバを参照])を選択し、IPア ドレスを固定で使用している場合は [手入力]を選択し ます。



6

7

8

○ ○ ()> 」 すべてを表示 〕	ネット	7-9 Q	
ネットワー	ク環境:(自動	:	
e Ethemet	RH :	接続済み	
e Wi-Fi 🔶		Ethernet は現在使用中で、IPアドレン 定されています。	4 192.168.10.1 f ^r ð
e Bluetooth PAN	IPv4 の構成:	手入力	:
	IP アドレス:	192.168.10.1	

[Macintosh HD] -[アプリケーション]-[ユーティリティ]-[ネットワークユーティリティ]の順 にダブルクリックします。

[Ping] タブをクリックします。

スを入力します。

⊿ プリンターのマニュアル

確認できます。

ネットワークアドレス入力欄に本製品の IP アドレ

本製品のIPアドレスはネットワークステータスシートで

[(例:10.0.2.1 または www.example.com)
 ping コマンドを回数制 ping コマンドを 4 	酸なく送信	
0.0	ネットワークユ	-71971
C O	ネットワークユ Ping Lookup Tra	ーティリティ ceroute Whois Finger Portsscan
0 0 Info Netstat	ネットワークユ Ping Lookup Tra	ーディリティ ceroute Whois Finger Portsscan)



10 通信しているときは、送信した信号がすべて返信されるため、図1のように [0.0% packet loss] が表示 されます。通信していないときは、送信した信号がすべて返信されないため、図2のように [100.0% packet loss] が表示されます。通信していないときは、各機器のネットワーク設定を確認してください。

図 1

1	図 2
64 bytes from 192,168.10.2: (cmp.xeg=0 tt]=122 time=0.342 ms 64 bytes from 192,168.10.2: (cmp.xeg=1 tt]=122 time=0.328 ms 64 bytes from 192,168.10.2: (cmp.xeg=1 tt]=122 time=0.324 ms 64 bytes from 192,168.10.2: (cmp.xeg=1 tt]=122 time=0.343 ms 192,168.10.2: ping statistics 4 pockets transmitted, 4 pockets received 0.0% pocket loss round-trip min/ang/max/stdder = 0.284/0.3	ping コマンドの活気を受助しました PING 192,165.10.100 (192,165.10.100): 56 data bytes Request timeout for icom_seq 0 Request timeout for icom_seq 1 Request timeout for icom_seq 2 192.165.10,100 ping statistics 4 packets transmitted, 0 packets received 100.00K packet loss

以上で PING コマンドによる通信確認方法は終了です。